

“三遠南信ブランド”で地域の未来を豊かに！元気に！

～地域の素材を活かし魅力的な街を創造する～

ご挨拶

浜松商工会議所青年部（浜松YEG）は、現役260名を超える仲間に支えられ、また25年の歴史により、その積み重ねの恩恵を受けながら、未来を見据えた諸活動を展開しています。

平成23年度は、私たちが生まれ育った浜松市が「夢ある地域」として発展し、未来の子供達が明るく誇りに感じる「心豊かな都市」として成長するキーワードのひとつとして「三遠南信」を定め、政策委員会が中心となって調査研究を行い、その成果物として政策提言書を発行することになりました。「未来は過去の延長線上にはない」という混沌とした世の中で、私たち青年経済人として果たすべき役割は「未来を創造する志」です。「三遠南信」という県境を超えた交流が、活力ある連携を図り、異業種が融合した新しいビジネスを創造し、広域的に有機的に発展すること願い、実践してまいります。

最後に、この提言書作成に多大なるご理解とご協力をいただいた全ての皆様に、感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

浜松商工会議所青年部

会長 小野晃司

目次

■ はじめに	
1 提言の背景	・・・ 4
2 「三遠南信」とは	・・・ 4
3 提言の趣旨	・・・ 5
■ 提言	
提言1 医療を核とした高齢者たちの三遠南信ビバリーヒルズ構想	・・・ 12
提言2 三遠南信「食の処方箋」による新たな食育プランの推進	・・・ 16
提言3 古今文化で、創作芸能ブランドを創る	・・・ 23
提言4 三遠南信ファッションジェネレーション	・・・ 33
提言5 花産地によるヒーリングリゾートサービス	・・・ 38
提言6 目指せ「KIBASEN WORLD CUP」	・・・ 50
提言7 三遠南信テクノビレッジ構想	・・・ 54
提言8 三遠南信エネルギー独立宣言	・・・ 58
■ おわりに	・・・ 67
■ 参考資料	
1 飛越地域アンケート結果	・・・ 68
2 出典・参考文献	・・・ 71
3 取材先	・・・ 75
■ あとがき	・・・ 78

はじめに

1. 提言の背景

新東名高速道路やリニア中央新幹線の開通など、日本の産業インフラが大きな狭間にある中で、浜松の経済が、三遠南信など広域の視野での経済圏あるいは生活圏の中核的存在となれば、新たな地域の可能性を見出すことに繋がります。

こちらは、今年度の浜松商工会議所青年部会長の基本方針の一文です。今年度は、浜松の経済を考えた時に広域的な視野としての「三遠南信」にスポットを当て、調査をしました。

調査をする中で、三遠南信自動車道は浜松北いなさICから鳳来峡ICまでが平成23年度内に供用開始となる発表があり、新東名高速道路では平成24年度に御殿場JCTから三ヶ日JCTまで開通となる発表がありました。そして、飯田市内を通るとされるリニア中央新幹線の新駅予定地の発表がされるなど、今年度の三遠南信地域内の交通インフラは大きな転換期となりました。

また、三遠南信地域内の活動を牽引している三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）が毎年各地域を持ち回りで開催している三遠南信サミットが、今年度は遠州地域の浜松で開催され、その内容及び活動も注目されることです。

そして、平成23年の忘れられない出来事として東日本大震災がありました。近い将来東海地震が発生すると予想されている遠州地域は、三遠南信という広域での連携が必要になるでしょう。

このように、今年度は浜松地域にとって三遠南信を考える上で大きな節目の年であるため、「三遠南信」を提言のテーマとし、調査、研究を行いました。

2. 「三遠南信」とは

「三遠南信（さんえんなんしん）」とは、愛知県東部の東三河地域を「三」、静岡県西部の遠州地域を「遠」、長野県南部の南信州地域を「南信」とした、3県の県境に跨る地域のことです。



3. 提言の趣旨

3-1. 提言の方針

三遠南信についての提言を作成するにあたり、提言の方針を定めました。

提言方針1

未来の「三遠南信」の
「商工業界の発展」のために、
「若き青年経済人」として相応しい「提言」をする！

三遠南信に住み、又は事業を行っている者として、地域の将来の為に商工会議所に所属する会員として商工業界の発展のためとなる、青年部目線の若き青年経済人らしい提言を目指します。

また、未来とはどの位のタイムスパンによる未来か、実現可能な場合は近い将来ということもあるでしょう。そうでない場合は夢のような提言になるかもしれません。しかし、提言という形にすることで実現への第一歩となる可能性もあるため、長期的な未来の発展のためになる提言も視野に入れて考えます。

提言方針2

「三遠南信」を 「明るく！」
「楽しく！」
「元気よく！」 する、「提言」を考える！

私たちが今住んでいる街、そして子供たちが将来も住み続けたい街として相応しい三遠南信を考えたときに、どのような街であって欲しいか。地域内の人々の都市部への流出により、人口を減少させないためにはどうしたらよいか。

その一つとして「明るい街！」「楽しい街！」「元気な街！」を望みます。このような、魅力的な「三遠南信」になる提言を目指します。

3-2. キーワード・カテゴリー

三遠南信といってもジャンルが多岐にわたるため、まずは委員会にて、提言の方針に基づく三遠南信に関するブレインストーミングを行いました。

その結果「123」のイメージキーワードが創出され、これらをグルーピングし以下の「8」のカテゴリーに分類しました。

1. 生活
2. 食
3. 芸能
4. サブカルチャー
5. 観光
6. スポーツ
7. 技術
8. インフラストラクチャー

各カテゴリーのイメージキーワードは、以下の通りです。

No	キーワード	補足・備考等
1. 生活		
101	医療を核とした世界の老人対象ビバリーヒルズ化	
102	世界各国の村を三遠南信で作る	世界中の各都市と連携し相乗効果を狙う
103	終の住処	
104	婚活パーティー	シルバーのパートナー探し含む
105	セニアカーの大会	
106	三遠南信合同祭	
107	グランドゴルフ大会	
108	ローカル通貨の制定	
2. 食		
201	カクテル大会	地産品使用
202	料理大会	地産品使用
203	世界グルメ大会	
204	ワイン作り	
205	グルメツアー	うなぎパイ、ギョーザ、すっぽん、フグに替わる名産品
206	ホルモン焼き大会	

207	三遠南信ブランド牛	
208	三遠南信B級グルメ大会	特産品と合せる
209	街中にうなぎ専門店だけを集めたビルを作る	飯田・豊橋にも進出「はままつ うなぎビル」
210	酒と料理のコラボレーション イベント	地酒試飲・販売、利き酒大会
211	天竜川下りでおでん大会	
212	お酒大会	水系が（水脈）が同じ
213	食用花のグルメラリー	
3. 芸能		
301	音楽の秋葉原化	なんでも揃う
302	楽器音楽大会	ウッドストック的なイベント
303	ヴァーチャル戦（いくさ）	
304	三遠南信陣取合戦	
305	日本再生ききゅう日本一周事業	
306	エステの聖地	
307	アート	
308	三遠南信カーニバル	三河天筒花火、遠州花火、信州御槍
309	お互いの祭りを自慢しあう	
310	サンバカーニバル	
311	音楽大会	
312	音楽世界大会	民謡、タイコ etc
313	芸術陶芸	
314	モーターショー	
315	三遠南信ガールズコレクション	
316	浜名湖ガールズコレクション	
317	特産生かしたファッションショー	
318	女性がい物するファッション、アクセサリー	
319	合同花火大会	10万発
320	対抗花火大会	
4. サブカルチャー		
401	三遠南信縁の武将ユニット	アイドル的なもの
402	ミス三遠南信	
403	三遠南信美女時計	時間毎に三遠南信の美女が表示される時計
404	SEN48	三遠南信アイドルユニット
405	三遠南信的少女	三遠南信アイドルユニット

406	三遠南信神起	男性三遠南信ユニット
407	特撮特区	中田島砂丘等、特撮の撮影が多い
408	サブカルチャー特区	浜松出身のまんが家が意外と多い
409	ガンダムオタ集合。	コスプレ大会
410	世界初?都市型サバイバルゲーム	
411	劇団三遠南信	地元出身俳優にも協力を仰いで
5. 観光		
501	外国人観光客を呼べるもの	
502	パワースポット	
503	空港から川下りー海へ	
504	外国人観光	
505	温泉めぐり	
506	アウトドアの聖地	
507	外国人を連れてくる	
508	観光ルート体験	外国人
509	飯田のカナダ化	
510	天竜川	
511	ニュージーランド化	自然を利用したカヤック、バンジー、クライミング
512	浜松のハワイ化	
513	遠州灘湘南化計画	
514	大自然	
6. スポーツ		
601	三遠南信 釣り大会	釣りトリアスロン大会
602	三遠南信 ママチャリ駅伝	
603	ツールド三遠南信	市内に東西南北の自転車専用道を整備
604	プロ野球球団	招致、作る 共に
605	地区対抗野球	
606	三遠南信 トリアスロン	
607	サーフィンの大会	
608	ビーチバレー、ビーチサッカーの大会	
609	ウェイクボードの大会	
610	スキムボードの大会	
611	ボディーボードの大会	
612	カヌーで三遠南信めぐり	
613	自転車、バイク キャンオンボール	

614	オートバイグランプリ	
615	浜名湖F1GP	モナコのようにセレブ化
616	モータースポーツ	
617	軽便鉄道跡地を自転車専用道で復活	あるいはリニア
618	世界規模のイベント誘致	WRC、モトクロス
619	モータートライアスロン	陸、WRC、海、モーターボート、空、飛行機
620	三遠南信マラソン大会	秋葉街道めぐりながら
621	ゴルフチャンピオン大会	
622	サッカーW杯 OB大会	
623	サッカー大会	ブラジル人も多い
7. 技術		
701	三遠南信 技能五輪	
702	技能五輪 世界大会	
703	花粉症研究の先端基地	
8. インフラストラクチャー		
801	三遠南信の技術を活かした車・ロケット開発	各地域のものづくり技術を活かす
802	三遠南信に環状の道路・鉄道をつくる	
803	水源と安全な高地を利用したクラウドコンピューティング用データセンター	ダムのような水源が水冷の役目を果たす
804	世界初の軌道エレベーターをつくる	軌道エレベーター：宇宙まで昇るエレベーター
805	グリーンツーリズム農業体験	民宿等を利用
806	キャンプ場をつくる	既存もあるが三遠南信事業として新たに
807	浜名湖魚センター	「うおっと」ではなく、焼津魚センターのような
808	廃校を利用した定住支援養成所	農業、ものづくりの支援専門学校
809	三遠南信ライフラインの整備	災害などで水、食料、住居を相互に補完しあう
810	キレイな水、木材資源を利用した楽器製造	
811	ダッシュ村の招聘	なくなったダッシュ村を誘致する
812	アスレチック間伐材テーマパーク	
813	三遠南信共和国	日本から独立した国家的なポジションを制定する
814	キッズニア三遠南信	キッズニア：子供が擬似的に就労体験できる施設
815	百貨店跡地へ市役所と公共機関招聘	
816	防災特区計画	三遠南信を防災に強い特別区として制定してもらう
817	アウトレットモールの誘致	
818	クリーン発電特区	安全でクリーンエネルギーとなる新たな発電方法を
819	ディズニーランド誘致	

820	路面電車の復活	単なる復活ではなく名鉄と遠鉄のコラボ
821	リニアモーターカーを浜松に誘致	
822	山車（だし）型路面バス	各地の祭りにかけて
823	競馬場誘致	
824	浜名湖にカジノ開発	
825	ギャンブル特区	競輪が浜松にない
826	遷都（首都移転）	三遠南信または浜松に首都移転
827	野外ロックフェスティバル	夏に舞阪、雄踏辺りで3日間。オートキャンプ対応
828	風力発電などを利用した自然エネルギー設備の整備	メガソーラー構想
829	日本の中心的な市場を作る。	ハブ市場なるものを誘致又は市で建設する
830	格闘技 賭博特区	プロの格闘家のリーグ戦などを開催して賭けを行う
831	芸術特区	香川県直島のような芸術文化あふれる地域に

3-3. 提言のねらい

三遠南信の新たな可能性を見出すためには、地域内の「素材」「資源」「特色」を活かした魅力的な三遠南信の探求が必要です。そして、地域の永続的な繁栄を願い、将来も住み続けたい豊かで元気な郷土を目指すためには、商工業界の発展が不可欠です。

そこで、地域内の豊富な素材を活かし、未来の発展に繋がる独自の“ブランド”を創り、地域外へアピールできる魅力的な三遠南信の創造を目指します。

三遠南信地域内の一つの地区としての“ブランド”は従来からも存在しました。しかし、今後の経済状況を考えたときには、一地区での力よりも広域的に連携した地域活力で外部へ発信する三遠南信全体での取り組みが必要です。東三河地域、遠州地域、南信州地域、それぞれで魅力的な素材は多くありますが、3地域を包括的に考えれば、今までに無い“ブランド”、他の地域には無い三遠南信独自の“ブランド”が見つかるはずですが、魅力的な「素材」「資源」「特色」を最大限に活かした「ここにしかない」、「ここだから出来る」“オンリーワン”を追求します。

地域内の繁栄、発展、経済の活性化には、消費人口との関わりは見逃せません。

地域内の人口を減少させないためには、人々が将来も住み続けたいと思う魅力的な街づくりが大切です。そのためには現状の商工業界の発展も必要ですが、三遠南信独自の産業による新企業の誘致も有効です。

さらに、他地域からの観光客の誘致も重要です。昨今では円高の影響もあり、ショッピングやエステなどの目的で海外へ行く日本人観光客が増加しています。海外へ流出している資金を三遠南信地域内へ持ってくる“魅力創り”が必要です。

その他の消費人口として、女性と高齢者が考えられます。女性の雇用環境を整備し消費可能な資金を増やした上で、消費する環境を整えれば地域内の消費が活発になります。そして、高齢者の保有する、現在の社会経済で活かされていない“埋もれた資産”を運用する環境を用意できれば、こちらも消費の対象となりえます。

このように、三遠南信を広域的かつ多角的視野で、「8」カテゴリで“三遠南信ブランド”を創りました。

次のタイトルに基づき、カテゴリごとに提言します。

“三遠南信ブランド”で地域の未来を豊かに！元気に！

～地域の素材を活かし魅力的な街を創造する～

提言 1 医療を核とした高齢者の 三遠南信ビバリーヒルズ構想

自然に富んだ三ヶ日地域に、医療を核とし、高齢者が安心して住める都市づくりを行う事で、今後さらに進展する高齢社会における地域ブランドを構築する。

1. 三遠南信地域と高齢化率

国立社会保障・人口問題研究所が発表した『日本の将来推計人口』（平成 20 年 12 月推計）において、2010 年の日本の高齢化率は 23.1%と非常に高くなっています。現時点で我が国は超高齢社会（高齢化率 21%超）にあり、今後世界に類を見ない速度で高齢化率は高まります。三遠南信も同様の傾向にあります。

さらに、市町村別にみると、三遠南信においては高齢化率の非常に高い市町村が数多く存在する事に気が付きます。2010 年時点では、長野県天龍村の 51.8%を筆頭に、大鹿村では 51.4%、東栄町では 46.6%と 33 市町村中 9 市町村で 35%を越えます。また、2030 年の予測では 33 市町村中 19 市町村で高齢化率は 35%を越えると推計されます。特に南信州地域の高齢化率上昇は顕著で、中核となる飯田市でも 35.7%と推計されています。

三遠南信において、特に中山間地域に位置する市町村が多い事が一番の要因であると考えられるが、日本における高齢社会の進展は明白で有り、今後の都市構想を考える上では、この現状を鑑みて考えるべきです。

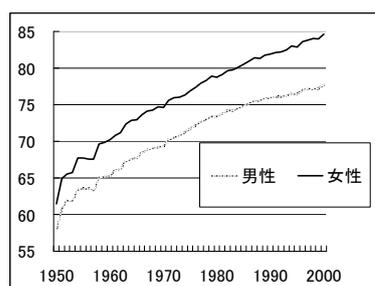
2. 高齢社会における三遠南信の街づくり

現時点で高齢化率を算出する場合の高齢者とは 65 歳以上のことを差し、この定義は数十年前から変わっていません。1960 年時点での平均余命は、男性 65.32 歳、女性 70.19 歳であったが、2000 年時点では男性 77.72 歳、女性 84.60 歳と大幅に伸びており、単純に 65 歳以上を高齢者と位置づけられません。

医療制度においても、65 歳～74 歳を前期高齢者とし、75 歳以上を後期高齢者と線引きしていますが、平均余命の推移を前提とすれば、これまで生産年齢人口と定義され、消費の中心に位置していた年齢層は、より高齢者層までシフトし、今後は前期高齢者世代が『まだまだ若い高齢者（アクティブシニア）』として消費の中心になると想像できます。

これらの状況を鑑みると、今後の街づくりは「前期高齢者世代が暮らしやすく充実した生活を送れる街を如何にしてつくるか？」ということが大きなポイントになります。

資料. 平均余命の推移



提言 1

3. 恵まれた地域環境の三ヶ日地域

今後の高齢社会と、高齢者が住みやすい街を考えたとき、重要なキーワードは『医療』であると考えます。平均余命が延びたとはいえ、高齢者は常に『病氣』を意識せざるを得ません。そこで今回は『医療を核とした街づくり』を提言します。

浜松市は、浜松医科大学医学部付属病院（病床数613）を中心とし、聖隷病院（病床数744）、聖隷三方原病院（病床数874）、日本赤十字病院（病床数312）など病床数の多い病院が数多く点在します。そうした病院を核に街づくりを考えるのも良いが、今回はあえて街づくりの視点から「ある場所」に病院を誘致する形での街づくりを提言します。

私たちの考える「ある場所」とは、三ヶ日地域（浜松市北区）です。浜松市は年間平均気温 21.1℃、年間降水量 1980.5mm。年間積雪量はほぼ 0cm（気象庁データより）と、温暖な気候に恵まれています。その浜松市の中でも、山と海の両方のロケーションに囲まれた土地こそが、三ヶ日地域です。温暖な気候の中、山と海に囲まれたロケーションは、リタイア後のセカンドライフを送る上でも恵まれた環境です。

また、従来の交通インフラに加え新東名高速道路、三遠南信自動車道が開通すれば南信州方面への交通も整備されることとなります。

この恵まれた環境に、千葉県鴨川市にある『亀田メディカルセンター』のようなコンセプトの病院を誘致することで医療環境を充実させ、高齢者を誘致します。亀田メディカルセンターは東京駅から高速道路を使い約2時間かかるにもかかわらず、1日に約3,000人が来院し、『もう一度入院したくなる病院』として有名です。こうした病院を核にする事で、特に富裕層の高齢者を取り込みます。

医療施設を核とし、その周りには介護施設も配置し三ヶ日地域のロケーションは必ずや介護施設にとっても充実した環境をもたらしてくれるはずです。

『もう一度入院したくなる病院、“亀田メディカルセンター”とは』

千葉県鴨川市に位置し、外来を行う「クリニック」と手術や入院などの設備を持つ「総合病院」からなる。

1日に訪れる患者数は約3,000人で、全国から訪れる。待合室は名前のアナウンスがないので静か。クリニックの入口には患者がスムーズに受診できるよう、エスコート係がいる。ロビーの雰囲気も「病院」ではなく「ホテル」です。約260床の病室は、全室オーシャンビューで、すべてが個室、ベッドには備え付けのパソコンがあり、食事制限がない場合には、自由にメニューを選ぶことが出来る。

また、いち早く導入した電子カルテの整備が行き届いているため、パソコンでは自分の「カルテ」を見ることも可能。どんな治療が行われているのか、現在の経過はどうか自分の目で確認もできる。

その他に、女性専用フロアもあり「リラクゼーションサロン」も設置されている。医療をサービス業として考える当院では、天国に最も近いところという理由から、最も景色のいい最上階に霊安室が設けられている。

また、中山間地域に近い三ヶ日地域に核となる医療施設を配置する事で、中山間地域の医療もカバーできます。ひとつはドクターヘリによる搬送です。もう一つは中山間地域への回診です。核となる施設の医師を中山間地域に派遣し、回診診療を行う事で医療難民を無くします。そのためには三遠南信自動車道の1日も早い全線開通が望まれます。

4. 医療を核とした高齢者たちの三遠南信ビバリーヒルズ構想

サービスの整った医療施設を核とし、富裕層の高齢者をメインに誘客する事を考えた時、ひとつの街の構想が浮かび上がります。それこそが「三遠南信ビバリーヒルズ構想」です。

米国のビバリーヒルズと言えば、言わずと知れた高級住宅街です。この三ヶ日地域を日本における高齢者たちの住むビバリーヒルズのような街とします。

「なぜビバリーヒルズなのか？」そこには一つの大きな意味があります。ビバリーヒルズはロサンゼルス郡の管轄ながら独自のビバリーヒルズ警察を持ち、高水準で治安を維持しています。昨今、日本では高齢者を狙った犯罪が多発しており、高齢者の住む社会は、より「安全性の高さ」が求められます。単純な高級住宅ではなく、高齢者が様々な面で安心して住める街づくりこそが「三遠南信ビバリーヒルズ構想」です。

医療が充実し治安も良い、海と山に囲まれており寒暖の差も少なく一年中住みやすい土地環境、加えて交通の面でも東京や名古屋の中間に位置し、高齢者である親世代がここに移住したとしても子や孫が会いに行く場合にでも不自由しません。

今後の日本において消費の主役となるのは高齢者に間違いありません。その高齢者を『安心』というキーワードで三遠南信に誘致します。今後日本は人口減少社会に突入します。その中で高齢者を誘致することで三遠南信における人の流入を増加し、地域を発展させます。

また、同時に高齢者が集まれば、それを活かした市場も必ずや生まれます。それこそが新しい三遠南信ブランドです。

この提言を行うにあたり飛騨高山市役所観光課にて取材を行いました。飛騨高山市役所では、行政と民間（企業・商店）とが一体となり、飛騨高山ブランドづくりを目指し、細かなデータに基づいた街づくりを行っています。それにより飛騨高山の街並みは形成され、海外からも多くの観光客の誘致に成功しています。「三遠南信ビバリーヒルズ構想」を行う場合にも、行政と民間とが一体となり、コンセプトを明確にした街づくりを行うべきと考えます。

提言 2 三遠南信「食の処方箋」による 新たな食育プランの推進

三遠南信の豊富な食材から自分の健康に必要な食材を導きだす仕組みを食育プランに導入し、地産地消の促進、健全な食生活の向上を目指し地域ブランドを興す。

1. 食育はあらゆる世代に必要なもの

社会経済情勢がめまぐるしく変化する中、私たちの食生活において偏食や不規則な食事の増加、生活習慣病の増加、食料自給率の低迷など、さまざまな食の問題が生じています。食生活を改善し心身共に豊かな生活を目指すために、食育の推進は子供たちだけではなく、あらゆる世代の人々に必要なものです。

食育とは、平成17年6月内閣府が施行した食育基本法によると『様々な経験を通じて食に関する正しい知識を身につけ、食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること』とあります。浜松市でも「浜松市食育推進計画」を策定し、家庭、学校、地域における食育の推進を支援し市民の食育への関心を高める事業を積極的に行っています。

さらなる食育の推進となるものとして三遠南信の特性を活かした新しい食育プランを考案しました。

2. 食の宝庫であるからこそ、「健康」をキーワードに三遠南信の食材をPR

三遠南信を一つの県と例えると平成18年農林水産省生産農業所得統計によれば、三遠南信の農業産出額は3,084億円で、都道府県別農業産出額ランキング第6位の愛知県と第7位の熊本県の間という上位に位置します。また、SENA（三遠南信地域連携ビジョン推進会議）発行の平成21年度「県境を超えた広域的な地産地消圏の形成プロジェクト」業務報告書によると、三遠南信の農林水産品や加工品、郷土料理は、321品目にも及びます。まさに食の宝庫です。

「食」と「健康」は深く結びついています。三遠南信で生産されている「食」にも「健康」と深く関わる食材が数多くあります。しかし、それぞれの食材にどのような効能があり、どのような食の組み合わせがどのような効果をもたらすかを逐一網羅するのは困難です。そこで、「健康」をキーワードに三遠南信の食材からその人に必要な食材を導き出す新しい食育プラン「食の処方箋」を導入すれば、より身近に三遠南信の食を認識できるのではないのでしょうか。

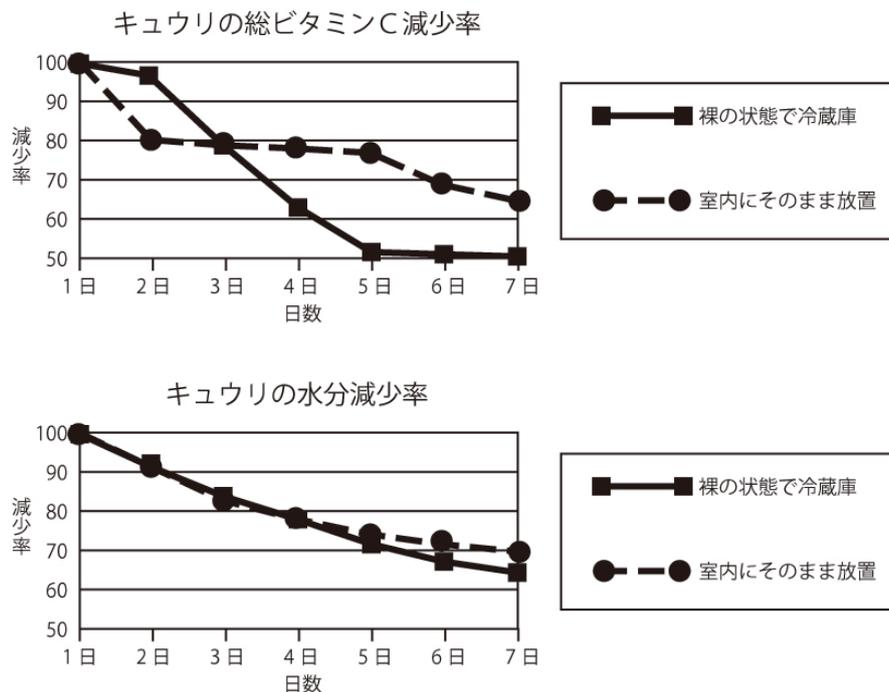
3. 健康と三遠南信の食

人が求める「健康」には、病気を治したい（治療）、病気を予防したい（予防）、より美しくなりたい（美容）、老化を防ぎたい（長寿）などさまざまです。なりたい「健康」に応じて「効果のある食材」は異なります。効能別に食材を提示すれば、それぞれの人に必要な食材がより明確になります。SENAの地域資源データから「美容」「疲労回復」「生活習慣病」という三つの症状に効く食材を調べたところ、「美容」に効く食材が26品目、「疲労回復」に効く食材が52品目、「生活習慣病予防」に効く食材が21品目と大変多くの地元食材から摂取できるとわかりました。

地元の食材を摂取するメリットは、収穫から摂取するまでの時間が短いことです。三遠南信地域内であれば朝収穫した食材が夕方には手元に届きます。浜松市ホームページ「健康はままつ21」でも取り上げられているように地産地消の利点の一つは、鮮度も、品質、栄養価も高いうちに美味しく食べられるため、健康効果がより期待できることです。

提言 2

資料 1. 時間と鮮度・栄養価の関係



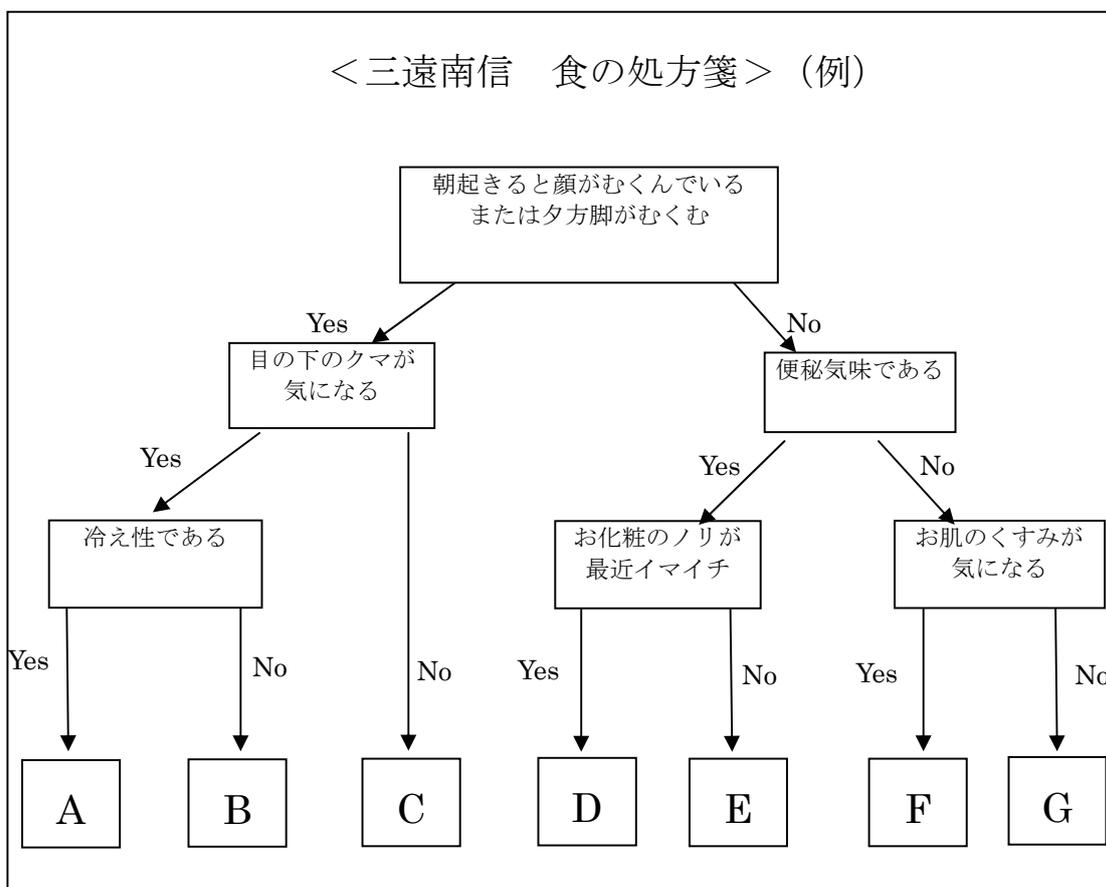
資料：「生野菜の鮮度保持に関する実験」（西尾幸枝、山田房子著）

※グラフ・・・生野菜の鮮度保持に関する実験資料抜粋

4. 健康に対する必要な食材を導く方法・・・食の処方箋

人々がもとめるそれぞれの「健康」に対して必要な食材を導く仕組み、名付けて「食の処方箋」を提言します。食の処方箋はフローチャート式に自分に該当する症状を答えていけば、症状に効果のある食材を知ることができます。また、その食材の旬の時期、メニューなども紹介され、本人が求める健康に近づける仕組みです。

資料 2. 三遠南信 食の処方箋



A	<p>血流が悪くなって冷えやむくみを引き起こしているあなたには・・・</p> <p>＜血行を良くして代謝を上げる食材＞</p> <p>冬瓜 えのき エリンギ しいたけ しょうが</p>
B	<p>血流が悪くなって水分代謝が悪いあなたには・・・</p> <p>＜血行を良くして水分代謝を助ける食材＞</p> <p>緑茶 玉ねぎ 大根</p>
C	<p>むくみを集中的に解消したいあなたには・・・</p> <p>＜むくみやすいあなたには 水分代謝を上げる食材＞</p> <p>きゅうり ジャガイモ セロリ 冬瓜 トマト</p>
D	<p>便秘がちで肌のコンディションが乱れているあなたには・・・</p> <p>＜腸内環境を整えてくれる食材＞</p> <p>えのき エリンギ おくら キャベツ 小松菜 空芯菜</p>
E	<p>便秘気味のあなたには・・・</p> <p>＜食物繊維たっぷりの食材＞</p> <p>えのき エリンギ オクラ キャベツ トウモロコシ ニンジン</p>
F	<p>むくみや便秘は気にならないけどお肌のくすみが気になるあなたには・・・</p> <p>＜美肌効果の高い食材＞</p> <p>ニンジン 大葉 空芯菜 小松菜</p>
G	<p>今は特に気になる悩みのないあなたには・・・</p> <p>＜健康と若さを保つためのアンチエイジング食材＞</p> <p>トマト なす チンゲン菜 セロリ 赤シソ</p>

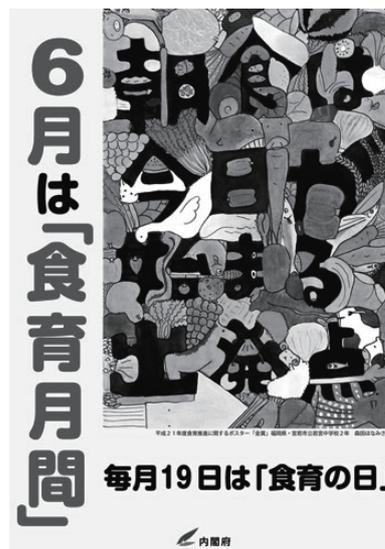
5. 食材紹介の方法を考える

食材の効能がわかりやすく人々の毎日の食生活に取り入れやすい方法として以下のような食材紹介を考えました。

- ・直売所やスーパーなどで見かける食材は、野菜、果物、魚介類、肉類などが別々に陳列されているが、これらを効能別に陳列する。
- ・三遠南信の食育アドバイザーを育成し販売場所でお客様にカウンセリングしながら食材やメニューを紹介する。
 - ・学校や企業、医療施設などでの給食に効能別メニューを取り入れる。
 - ・温泉地で、宿泊施設での効能別食事メニューと効能別温泉をセットにしたプランを用意する。
 - ・地域内のコンビニエンスストアでは効能別弁当を販売する。
 - ・「治療食」「予防食」「美容食」「長寿食」などの健康カテゴリー別に展開する。
 - a. 治療食は、薬の処方箋と同時に食育アドバイザーによる食の処方箋を提供する。
 - b. 美容食は、リラクゼーションやダイエット運動などと美容食と合わせて美容効果を高めるプランをサロンで導入する。
 - c. 長寿食は、長寿になる野菜作り（家庭菜園）を推進する。
- ・イベント開催時に健康と食をリンクさせたメニューを発信する。
- ・内閣府が推進する「食育の日」（毎月19日）や食育月間（6月）に、三遠南信の食材を使った健康メニューコンテストを開催する。
- ・農業、漁業体験イベントなどを扱った「三遠南信健康食材まつり」を開催する。



効能別陳列例



食育月間ポスター（内閣府）

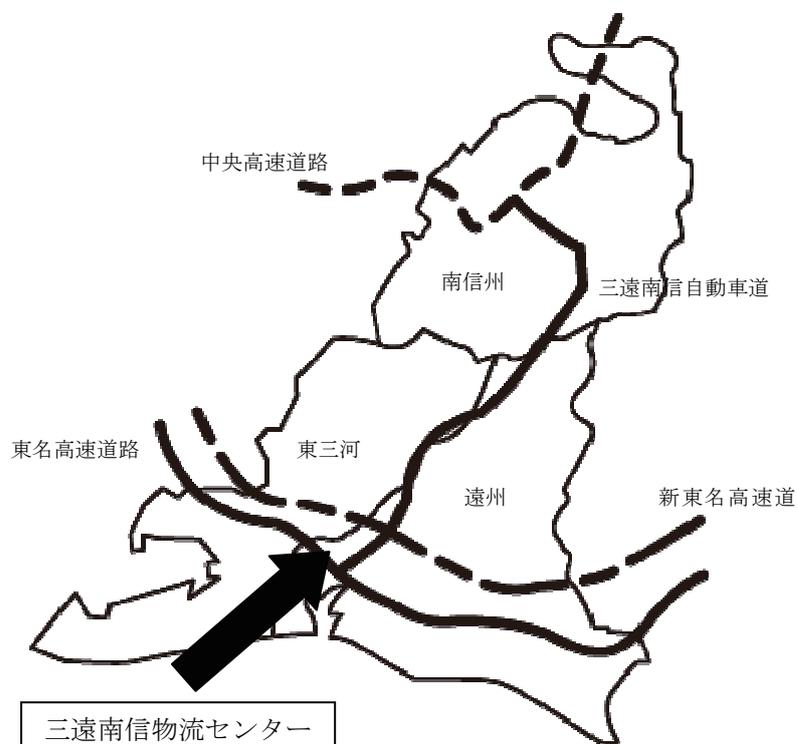
6. 生産者と流通業者をつなぐ”三遠南信物流センター”を

このように地域の食材を有効に活用するためには、三遠南信の中心部に生産者と流通業者をつなぐ物流センターの設置が必要不可欠です。三遠南信自動車道が全線開通すれば、飯田市と浜松中心部の移動時間が4時間から2時間にまで短縮され、今まで以上に地域の食材が短時間で手に入れます。交通アクセスが良く、三遠南信の中心部に相当する地域として、物流センターの場所は引佐地域（浜松市北区）あたりが理想的と考えます。

県境をまたぎ連携している飛越協議会（岐阜県飛騨地域、富山県南部地域）は古くからの「ぶり街道」でもわかるように経済的文化的交流があり、行政と民間が「観光」をキーワードに交流し、地域活性化を促進しています。

同じく経済的文化的交流のある当地域にとって私たちの生活に最も基本の文化「食」、そして「健康」をキーワードに行政と民間が交流すれば、地域活性が促進します。直売所など消費者に直接届けるのではなく、生産者と流通業者をつなぐ仕組みは中山間地域の多品目少量栽培農産物をすくい上げ、中山間地域活性化の具体的な手段になります。

この物流センターには三遠南信の食材が広く集まり、地域の方に新鮮な食材を届けると同時に顔の見える流通ができ、食文化の情報も交流し、より安心感も届けるような場所になります。



7. 食べて健康になる地域づくりを目指して

これらを実現することにより、地域の皆さんが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活をおくることができます。「健康」と「食育」をキーワードに地域の人々が三遠南信の食材に関心を持つことは、地域経済の発展や人々の健康に繋がります。食材が豊富な三遠南信だからこそ、薬や病院に頼らなくても健康でいられる医食同源の地域づくりが可能になります。

提言3 古今文化で、創作芸能ブランドを創る

～ 演者も観者も楽しめる「体験」、「変化」、「競い」
をテーマとした祭典の実施 ～

三遠南信の特長を活かした演者も観者も楽しめる体験、競い、変化をテーマとした創作芸能祭典を実施し、伝統芸能の継承と地域活性化を目指します。

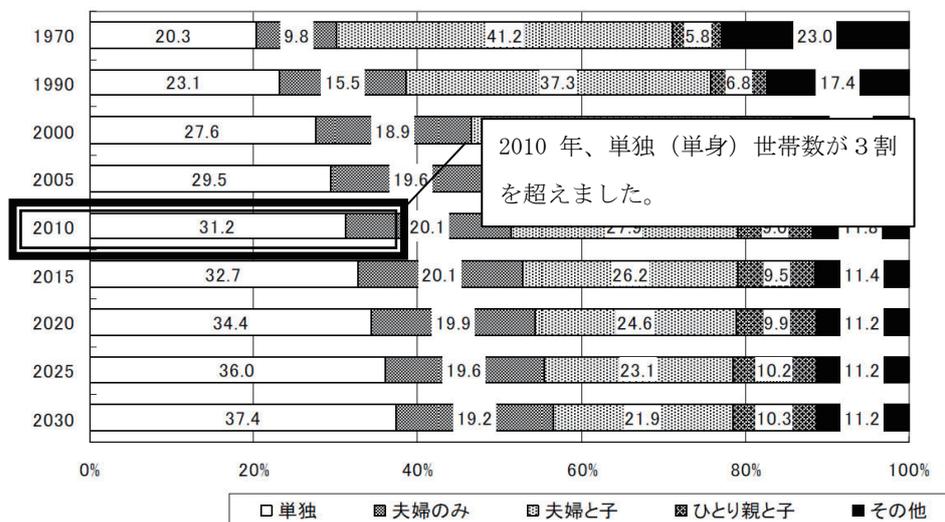
1. 音楽、文化の重要性

近年、家庭や学校での教育の中では、知識習得に主眼が置かれるようになり、本来必要である「人」としての生活の知恵、発想力、すなわち人間力を習得する機会がとて少なくなっています。人間力は、地域の文化に触れ、先人たちから学び、体験することによって培われてきたものです。

社会構造や価値観の多様化により、単身世帯の増加(資料1)とともに、社会的孤立(資料2)を感じる方が増えており、同時に、地域の交流も少なくなっています。

少子高齢化とともに単身世帯の増加が見込まれる日本では、人との絆を深め、孤独への不安を払拭し、安心を形にすることか、今後ますます重要な課題となってきます。

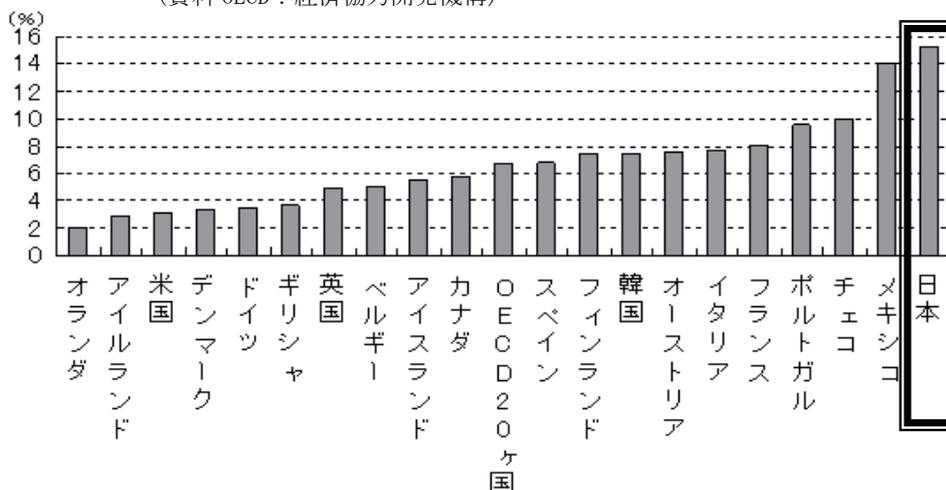
資料1. 家族類型別一般世帯数構成比の将来推計



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(平成20年3月推計)」及び国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2008年)」

資料2. 2005年の「先進諸国における社会的孤立の状況」調査

(資料 OECD: 経済協力開発機構)



2. 三遠南信の文化的魅力

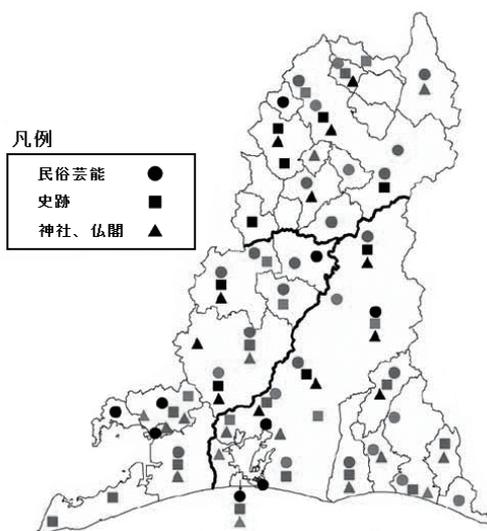
三遠南信は「民族芸能文化」の宝庫です。民俗芸能や史跡などが多く分布しています。

資料 3.

三遠南信地域では、「塩の道」による文化の往来が、神楽や田楽等を中心とした文化を開花させ、「奥三河・北遠の花祭り」、「遠山霜月祭」、「西浦田楽」等の貴重で特徴的な民俗芸能が伝承されています。また、こうした民俗芸能は、国や県の重要無形文化財に指定され、民俗芸能の宝庫として高く評価されています。

しかしながら、こうした特色ある民俗芸能の担い手が、過疎化や少子化等によって減少しており、一部には休止せざるを得なくなった祭礼もあります。

こうした貴重な民俗芸能を将来に継承するため、対外的なアピールや観光面との組み合わせなど、新たな価値づくりを広域的に進めていくことが重要です。



資料 4.

地域	祭事/イベント名	内容（特長）
東三河（豊橋市）	豊橋祇園祭り	450年の伝統がある「手筒花火」
東三河（設楽町）	田峯田楽奉納歌舞伎	五穀豊穡・悪魔退散を祈願
東三河（東栄町）	花祭り	五穀豊穡、無病息災を祈る神事
東三河（東栄町）	花祭り会館	「花祭り」を保存伝承する展示施設
遠州（浜松市）	浜松まつり	御殿屋台と凧揚げ
遠州（浜松市）	遠州大念仏	太鼓や鐘などにあわせて念仏踊り
遠州（浜松市）	西浦田楽	西浦観音堂において催される催事
遠州（浜松市）	浜松祭り会館	浜松まつりに関するさまざまな資料
遠州（浜松市）	伝統芸能フェスティバル	浜松民俗芸能活動報告祭
南信州（飯田市）	今田人形浄瑠璃	宝永時代から約300年続く龍江の伝統芸能
南信州（大鹿村）	大鹿歌舞伎	映画「大鹿村騒動記」の題材となり話題に
南信州（飯田市）	遠山郷の霜月祭り	千と千尋の神隠しの構想の元と言われる祭り
南信州（阿南町）	農村文化伝承施設	主要な祭りの展示、ビデオ上映

しかしながら、過疎化や少子高齢化などにより継承が困難となっています。こうした貴重な文化を将来に継承していくことが、重要な課題となっています。

3. 他地域、他分野成功事例

他地域や他分野に目を向けると、様々な魅力ある取り組みによって成功している事例を見つけることができます。魅力的な事例には何があるのか、また成功のためのヒントやキーワードについて考察します。
(資料5、資料6)

資料5.

ジャンル	地域	タイトル	内容	競い	体験 (演者)	体験 (観者)	変化
創作芸能	北海道札幌	YOSAKOI ソーラン祭り 	高知県の「よさこい祭り」をルーツに1992年、よさこい祭りの「鳴子」と北海道の民謡「ソーラン節」をミックスして誕生しました。	◎(優勝者決定)	◎(演者主役)		◎文化融合
創作娯楽 (教育+娯楽)	東京江東区	キッズニア東京 	体験型商業施設として、仕事体験は3-15歳の子供に限られ、「キッズ」というキッズニアだけの通貨があり、仕事体験が終わったあと給料として支払われます。	◎(競争社会実体験)	◎(大人の実体験)		◎今までにない
食	各地	B級グルメグランプリ 	日本全国の自慢の料理が提供されます。地域活性化を目的とした「まちおこしイベント」です。	◎(優勝者決定)	◎(料理人)	◎(試食人)	

資料 6.

姫路で開催される B 1 グルメグランプリに、「西伊豆しおかつお研究会」が初めて参戦。

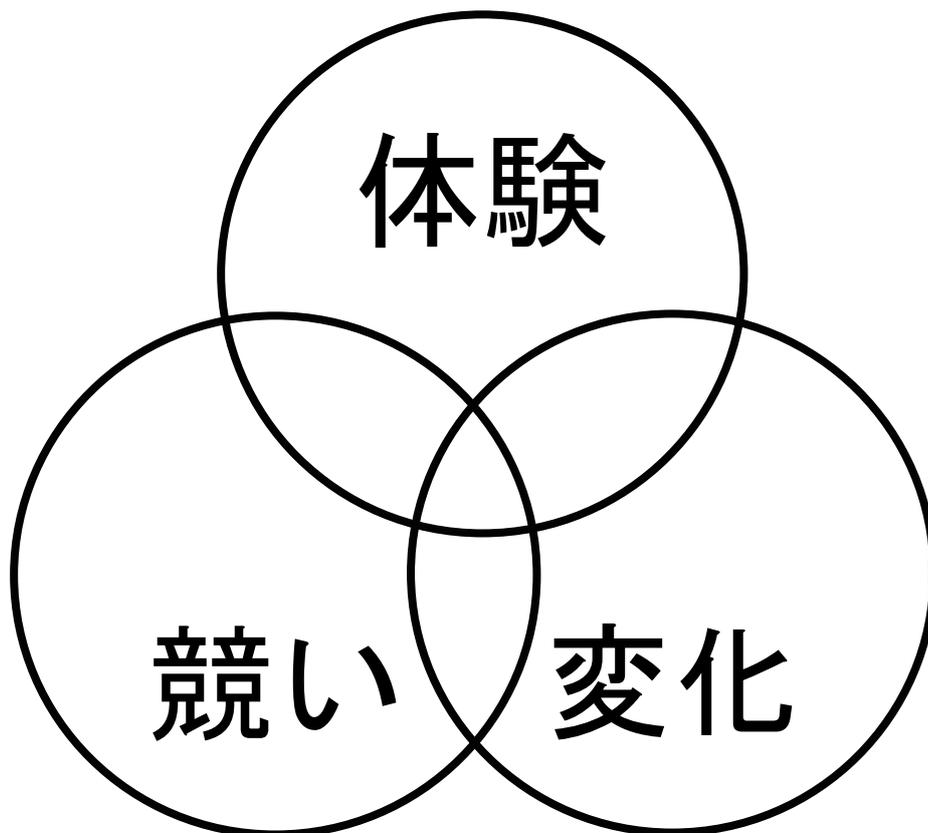
西伊豆町に古くから伝わる伝統の保存食『塩かつお』を使った『塩かつおうどん』を開発。

塩かつおは、カツオをまるごと塩に漬け込み乾燥させて作られた伝統の保存食であるが、船の老朽化や漁法の変化で船は一隻もなくなり加工店も激減。



そこで地元の有志が塩かつおうどんを前面に出して町おこし活動をして、B 1 グランプリ出場権利獲得。1300年の歴史を持つ塩かつおが、創作料理によって現代人の口に合った食べやすいうどんに変化して、イベント参加により多くの人に知られることとなった。そして創作をきっかけに伝統の保存食の歴史を継承する。

これら成功例には、共通して「体験すること」、「競いがあること」、「変化があること」が含まれていることに気づきました。



4. 新たな文化の創造

そこで、三遠南信の伝統芸能を活かしながら、コラボレーションによる創作芸能を提案します。伝統芸能にとって「変化」は受け入れがたいものかもしれませんが、若年層にも興味を持ってもらうためには、伝統に変化を加え現代芸能とのコラボレーションによりきっかけを作ることができます。例えば、資料7の「Z I - P A N G」のように伝統芸能を現代風にアレンジして成功している団体もあります。

資料7.

団体名	内容
<p>Z I - P A N G</p> 	<p>“かつぎ桶太鼓”を主に使用し、更にキーボードやギター、ベースなどの他、ホーンセクションなども取り入れ、圧倒的なテクニックとグルーブ感でエネルギッシュかつポップな音楽</p>

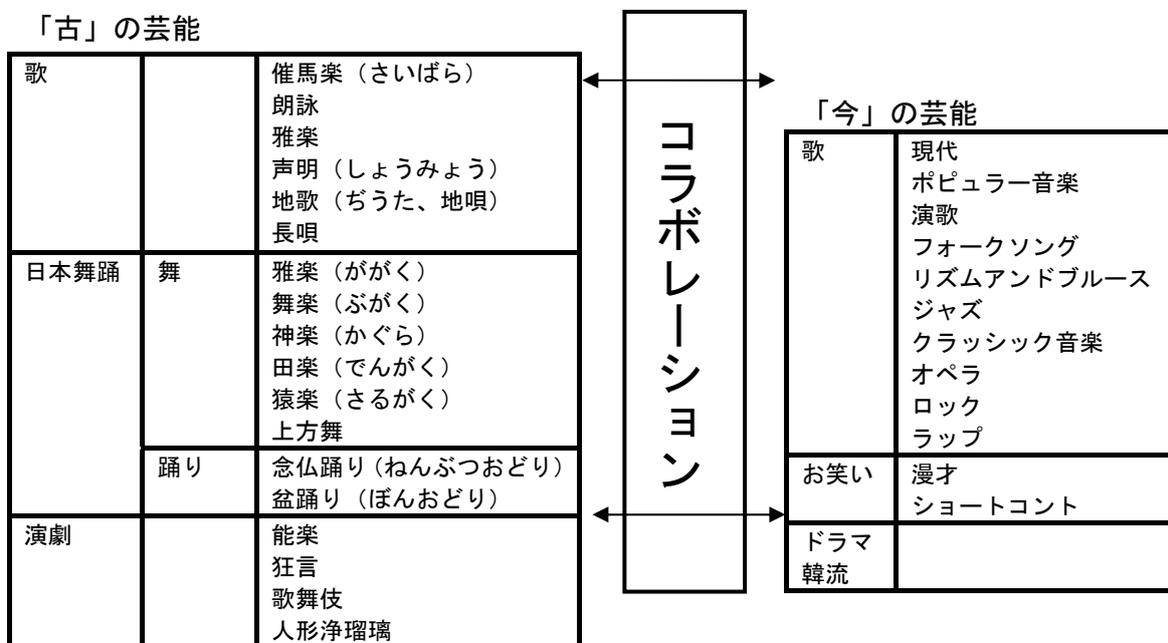
また、もともと伝統芸能は中国などとの異文化交流やその時々々の流行に合わせて芸能を創作して作り上げられてきたものでもあり、創作芸能の連鎖で確立されてきたものでもあります。

変化を与えることが伝統芸能の継承に有用であるともいえます。

これらを踏まえ、三遠南信の特徴を生かした体験、競い、変化をテーマとした創作芸能をブランド化するビジョンを構築することを提言します。

『古』の芸能と『今』の芸能をミックス（創作）した民俗芸能の祭典を実施する。歌舞伎、能、狂言等と漫才、落語、講談、ラップ、ジャズ、ポップス、韓流芸能等の組み合わせは自由とする。

下の表は三遠南信創作芸能コラボレーションの一例です。



伝統芸能→	イメージ→	創作キャッチコピー→	コラボ例
能 	しんみり・眠くなる	ちょっとありがたいクラシック！	クラシック+能の舞い（オーケストラ） 
歌舞伎  <small>大木 三郎</small>	スターシャウト 派手な動き	スカッと楽しむスターのロックンロール	ロックと歌舞伎 
文楽 	（太夫イマツ） 独特な声 粘っこいのり	たけうは、日本のブルース	ブルース（ジャズ）と文楽 

提言 3

ここでポイントとなるのが文部科学省の学習指導要綱です。

平成24年度は、中学1、2年生の保健体育の授業でダンスが必須となり、『創作ダンス』『フォークダンス』『現代的なリズムダンス』から選択します。この新要綱に合わせ「伝統文化」を題材とした創作芸能を学ぶことができれば、三遠南信の伝統を知るきっかけにもなります。柔軟な発想を持った中学生が対象となるので、文化の恒久的な継承されやすい風土が作られていきます。

しかし、これら伝統文化を題材とした指導を学校の教諭が行うことは難しいと考えられます。伝統文化はその土地で育まれたものであり、そこで生まれ育った方でなければその本質は伝えられません。そこで、これらの指導をその土地の伝統芸能の熟練の方々へ依頼することが必要となるため、行政として『教育特区』化を図り、地元の熟練者を中学の臨時講師として認定する制度を提言します。



5. 創作芸能の祭典

新しい創作芸能をさらに活性化するためには、発表する場も必要となります。

発表の場により、創作芸能に『競い』も加えることになり、日々学んでいく目的を明確にできるだけなく、その中学生の親や祖父母、その他の家族が自分の子供の学んだことを観覧できる場となり『観者』が生まれることとなります。観者の存在はそれ自体の活性だけでなく、伝統文化自体の公表に繋がります。

また、伝統芸能と同じく三遠南信に多く存在する「重要文化財」を会場とします。

資料 8. 三遠南信の文化財

東三河	豊橋市	・東観音寺多宝堂 ・羽田八幡宮 ・ハリストス正教会大聖堂
	豊川市	・八幡宮 ・財賀寺 ・三明寺
	蒲郡市	・竹島八百富神社社殿
	新城市	・鳳来寺山東照宮 ・望月家住宅
遠州	浜松市	・中村家住宅 ・方広寺七尊菩薩堂 ・宝林寺仏殿 ・浜名惣社神明宮本殿
	袋井市	・法多山尊永寺 ・油山寺
	菊川市	・黒田家代官屋敷
	掛川市	・大日本報徳社大講堂
南信州	飯田市	・白山社奥社本殿 ・文永寺 ・諏訪神社下黒田の舞台
	高森町	・竹ノ内家住宅
	阿南町	・八幡神社
	下條村	・大山田神社
	泰阜村	・諏訪社
	大鹿村	・福德寺本堂 ・松下家住宅

このように、三遠南信は多くの文化財の存在もその特徴の一つです。この祭典の開催場所として、新たな施設の建設等ではなく、既存の文化財を利用すれば文化施設の周知にもつながります。

しかしながら、これら文化財はその保護を目的とし、多くは「立ち入り禁止」となっています。そこで、この祭典を一つの「伝統文化」として位置づけ、その開催に当たってのみ立ち入りの許可を行えば文化施設の観覧者の増加にもつながります。

提言 3

以上により、三遠南信の特徴を活かした「演者」も「観者」も楽しめる体験、競い、変化が共存する創作芸能の祭典が、新たな「ブランド」の構築と、伝統文化の恒久的な継承や地域の活性化につながるでしょう。

資料 9. 諏訪神社 下黒田の舞台（飯田市）



提言 4 三遠南信ファッションジェネレーション

～創る！そして魅せる！新たなるファッションジェネレーション（創世記）～

「パリ」「マドリッド」「ニューヨーク」「東京」。これらのファッションの聖地に新たに「三遠南信」が加わる。

三遠南信でワールドワイドなファッションショーが開催され、世界の注目を浴び、様々な関連企業・店舗が集まる。アジアを席卷するファッションリーダーとしての幕を開ける。

提言 4

1. 三遠南信は素材の聖地ーネオシルクロードー

三遠南信はその昔「塩の道」と呼ばれるルートが存在し、古くは同じく「絹の道」と呼ばれていました。かつて南信州地域では養蚕が盛んであり、ここから絹・綿が製造されていました。また、これらが遠州・東三河地域に運ばれ、浜松では浴衣や繊維業、紡績業、袋井ではコーデュロイ、豊橋では帆前掛け（魚屋の前掛け）等が広く製造された歴史があります。

「絹の道」はユーラシア大陸、中国ーインド間を結ぶ「シルクロード」と同じ呼称です。これにちなみ絹の道を「ネオシルクロード」と命名し、素材製造の復活と高い品質素材そのものからファッション文化を再構築することを提言します。

2. 素材を活かす技術

2-1. 三遠南信の価値ある素材をどうすべきか

イタリアを代表する産業の一つは繊維、アパレル産業です。イタリアの繊維産業は他ではできないものをつくり、市場の評価を得て競争力を維持しましたが、職人芸的な生産技術が競争力のベースにあります。

三遠南信には素材だけでなく、繊維産業における高い技術は既に存在しており、養蚕を元にした絹や綿・ポリエステル混紡糸の高級織物を主体に高い技術をもっています。

現在、国内市場は「ファストファッション」のような低価格商品購入の節約疲れもあり、高くても良いものを求める動きもあります。

高い技術力を活かして生き残りをかける機会が「今」必要なのです。

2-2. 三遠南信には高い技術をもつ繊維企業が多い

三遠南信にはコーデュロイ、別珍（綿ビロード、ベルベット）の新商品開発を今も行っている企業、逆に綿製法において古き良き繊維工法を現在でも維持する貴重な技術企業が数多く存在します。

特に、別珍の生産が行える産地は国内に本産地しかなく、世界的に見ても服地に採用されているのは、日本とイタリアの生地のみといっても過言ではない状況です。既に製造技術においては世界水準にあり、別珍という分野での競争力は十分に確立されています。

3. 三遠南信ファッションブランドの創造と人材育成

いかなる産業においても成長・発展のための人材育成は必要不可欠なものとなります。ファッションビジネスの発展においても、次代を担う人材が継続的に排出されるような仕組みづくりが重要です。

ファッションの文化は様々な文化の中でも特に移り変わりが速く、服飾に関する知識と専門的技術を身につけるための専門学校等は全国的にも数多く存在します。その中で三遠南信にも数校の専修・専門学校等が存在します。

内訳は次のとおりです。

- ・ 笹田学園デザインテクノロジー専門学校 ファッションビジネス課
- ・ 静岡服飾美容専門学校 服飾学科
- ・ 静岡デザイン専門学校 ファッションデザイン課、ファッションビジネス課
- ・ 白百合洋裁専修学校
- ・ スミレ文化服飾専修学校
- ・ 東海文化専門学校
- ・ トミヅカ洋裁専修学校
- ・ ニュースタイル専修学校
- ・ 平山文化服装学院
- ・ 浜松デザインカレッジ ファッションビジネス課
- ・ 専門学校ルネサンス・デザインアカデミー ビューティーコーディネート課
- ・ 安城文化服装専門学校、安城服装専門学校
- ・ 慈恵きものファッションカレッジ
- ・ 豊橋ファッション・ビジネス専門学校 服装課

各専門学校等ではファッションデザイナーとして活躍するための人材育成を行っており、ファッションコンクール等で入賞されるなど素晴らしい人材が育っています。しかしながら都市圏に比べて、まだ群を抜いた地域となっていないことも事実です。

デザインするための素材については既に優秀なものが存在していますが、それを活かす人材育成について三遠南信でもっと検討されるべきです。

この行動が三遠南信における情報交換や技術提携など、デザイナー育成のための機会になり、またそれぞれの分野で各地域から三遠南信へ、さらには日本国内また世界で活躍される人材の育成につながることでしょう。

提言 4

4. 三遠南信がファッションリーダーに

素材を活かすためには優れた料理人が必要です。資源豊富な三遠南信の繊維素材を活かすには優れたデザイナー、コーディネーターが必要です。

かつて「繊維の街」であった浜松や豊橋には現在でもデザイン服飾学校も多く存在し、ファッションショーや各種ファッション系イベントには多くの見学者が訪れます。実は潜在的には服飾に関しては関心の高い地域なのです。

しかし、「デザイナーの卵」しか育成できていないのが現状で、最前線で活躍するデザイナー、コーディネーターを招聘しなければなりません。

5. 現状の取り組み

三遠南信として現在、以下のようなファッション系イベントが開催された実績があります。

- ・ 浜松シティファッションコンペ
- ・ 浜松まちなかコレクション
- ・ 遠州織物夏服デザインコンテスト
- ・ 七夕ゆかたまつり



浜松まちなかファッションコンペ 2011

6. ファッションの聖地（メッカ）を創る

「パリ」「ミラノ」「マドリッド」「ニューヨーク」「東京」これらのファッションの聖地に「三遠南信」が新たに加わるために、「三遠南信コレクション（ファッションショー）」を開催し、世界へ「三遠南信ファッションブランド」を発信するべきです。

優れたデザイナーやコーディネーターをこの三遠南信に集め、一大コレクションを開催することにより世界に注目され、メゾン（会社、店舗）が集まり、アジアを席卷するファッションの聖地に発展させます。

はたして、大都市ではない地方地域で国際コレクションができるのでしょうか？

交通インフラを見れば「中部国際空港」「富士山静岡空港」「東海道新幹線」「東名高速道路」「新東名高速道路」さらには「リニア中央新幹線」と多彩な交通網を持つ三遠南信はコレクションを開催できる能力が充分にあります。

また、他とは異なり“素材”が生産できる地域であり、素材製造～加工～デザイン～生産～販売までの「ファッション一括流通」が可能です。

ファッションとこれを支えるものづくりは、文化交流の担い手でもあります。糸、織布、編立、染色、縫製の無限の組み合わせの中から作り上げる繊維製品は、デザイナー、コーディネーター、そして各工程を担う作り手の感性が色濃く反映されます。

良い素材や感性を自在に組み合わせる日本の昔ながらの文化は、近年のパリコレクション、東京コレクションにおいて関心が集まっています。良い素材をもつ三遠南信の繊維産業、ファッション産業は日本の文化を伝える力を持っており、これを武器に飛躍していくことが可能なのです。

ファッションにかかわる流通、小売業は、観光業などとも連携し、魅力ある街づくりを促すことにつながることで、幅広い雇用を創出し、繊維産地にとどまらない地域経済を支える源としての高い潜在力を充分に秘めています。

提言 5 花産地によるヒーリングリゾートサービス

～リゾートブランドの創造～

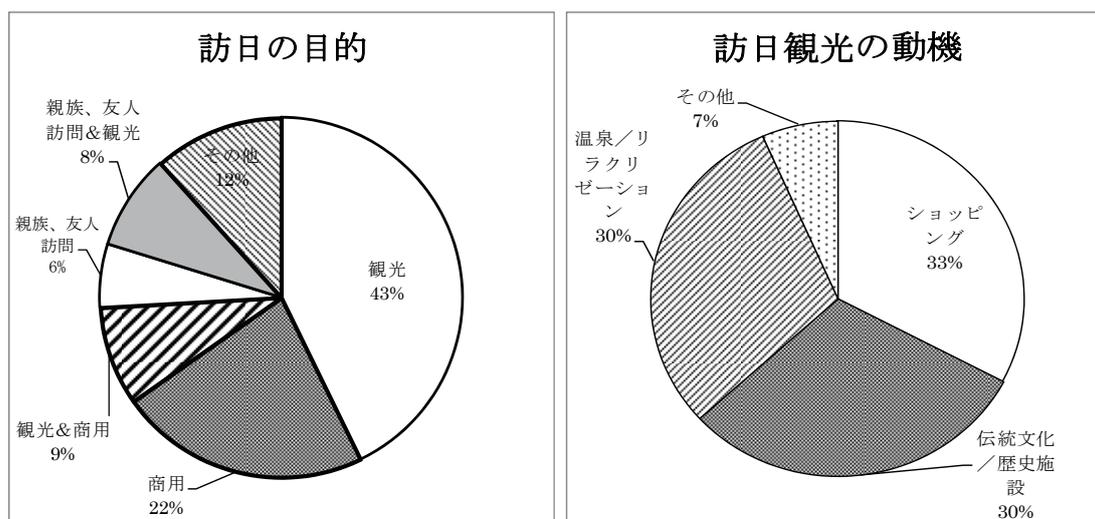
全国有数の花の産地である三遠南信。花を活かした「身体のヒーリング」、
「視覚、嗅覚のヒーリング」、「味覚のヒーリング」により世界から愛される
リゾートブランドを創造します。

1. 観光とブランド

1-1. 観光の目的

世界から訪れる人々の約60%（商用、訪問の併用を含む）が「観光」を目的として訪日します。日本には豊かな観光資源があり、ショッピング、伝統文化歴史施設、温泉リラクゼーションなどが訪日観光の動機となっています。

資料1. 日本政府観光局 平成22年観光統計



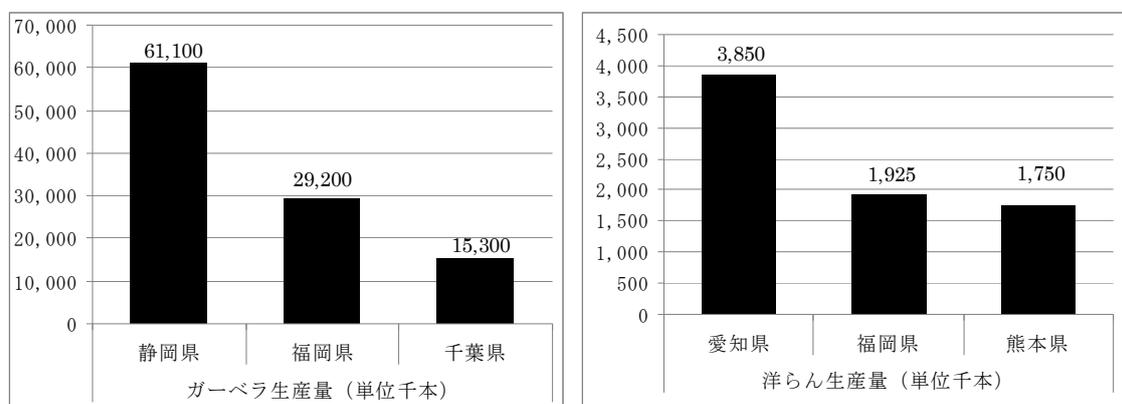
人気の高い癒しの観光としては草津（湯治温泉）、京都（歴史ある寺院、風土）、沖縄（美しい海と自然）等があります。これらは、地名を聞いただけで行きたくなる、それぞれの特徴がありイメージできます。つまりブランド力を備え、高い集客力があるのです。

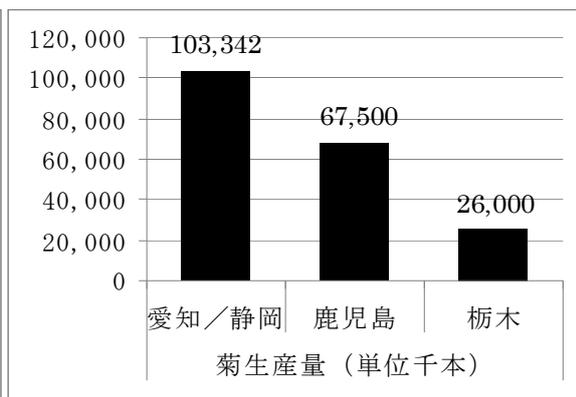
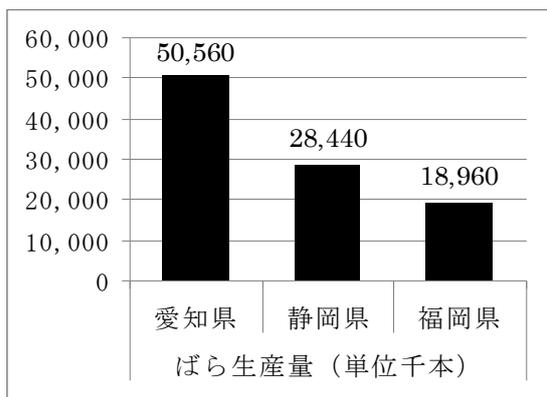
1-2. 花産地によるヒーリングブランドの創造

花は様々なヒーリング（癒し）に効果的で人気の高い素材です。

三遠南信は国内有数の花の生産地であり、特に香りと色彩豊かなバラやガーベラ、洋ラン、菊は国内で生産、品質とも高い評価を受けています。

資料2. 農林水産省 平成22年生花出荷統計（単位千本）





【豊橋 洋ラン、胡蝶蘭】

国内生産1位



【浜松 ガーベラ】

国内生産1位

色彩豊か、100色以上



【飯田 ダリア】

国内生産1位

色彩と花容が豊富

2. 花による五感を満たすヒーリングリゾート

花は様々なセラピー効果やヒーリング効果が期待できます。

また、ストレス社会の現代、ヒーリングは全世代に求められ世界的に需要が高い分野です。最近では女性だけでなく男性も、美しさ、癒し、リラクゼーションの質を求めるようになってきました。本章では五感を満たす総合ヒーリングで観光ブランドの創造を提案します。

今回私達が提案するのは、三遠南信の特性、資源を活かし、平成24年に開通する新東名高速道路をはじめ主要交通網の利便性を活かして、スパ施設、ヒーリングガーデン、オーベルジュを備えた日本の中央部にふさわしいヒーリングリゾートです。

・現在の日本の消費傾向

日本では、ここ数年の景気後退で、消費者がその購買行動を成熟させてきました。

野村総合研究所が3年に1回行っている男女1万人の調査によれば、平成21年の調査では、単に安いものではなく本当に価値あるものを見極める傾向が強まっているという結果が出ています。

また、「事前に情報収集してから買う」「使っている人の評判が気になる」といった、価格が品質に見合っているかどうかを吟味する人が増えています。こうした「ものを見極める力」（目利き）については、平成12年当時の20歳代と平成19年の20歳代を年収別に比較した調査でも、収入の多寡にかかわらず目利きをする傾向に大きく変わっています。

・消費力のある層とは

近年、消費力が強い層として、団塊以上の高年層、また、消費傾向が上昇している年収1200万円以上の裕福階層が上げられます。また、顕著なのが有職女性です。

日本経済新聞社産業地域研究所の「働く女性1万人調査」（平成21年11月に全国の20～40代の有職女性に実施）では、有職女性のファッション・趣味娯楽の支出額は、専業主婦と比較して2倍であり、消費意欲の高さが明らかになっています。

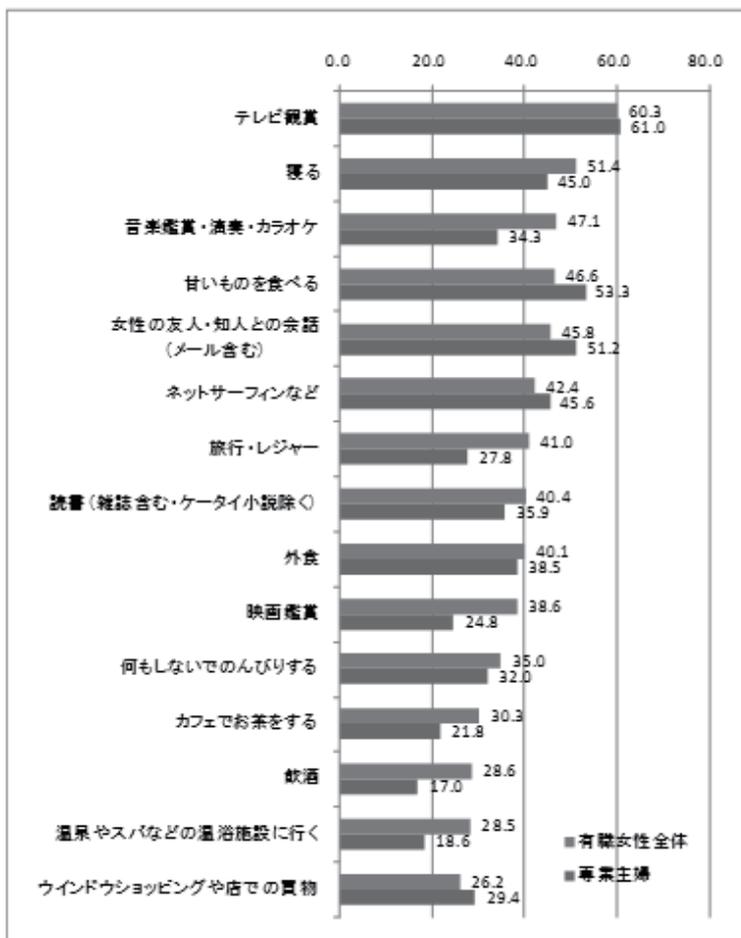
以上、景気後退の局面を何度か経験しながらも、消費に正しい価値を求め、さらに高い消費意欲を期待されるこれらの層、またそれ以外にも価値のあるものに出費を惜しまない「目利き」の消費者が、今後増えてくることが予想されます。

・女性の興味・楽しみ

特に、買い物・レジャーにおいて消費のカギを握るのは女性です。

また、女性の消費行動に男が同行するケースが多いため、多くの企業は女性の関心事に心を砕いています。下の資料は、女性が何でストレス解消をするか、また何に関心があるのかをアンケートした結果です。

資料 3. 女性へのストレス発散や楽しみに関するアンケート（複数回答）



日経産業地域研究所「働く女性が拓く市場」

・本物志向

また、デフレ傾向の世の中ではあるが、一方で他地域・施設にも「東京ディズニーリゾート」「星野リゾート」「ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパ」などの例があるように、人々がリゾートに対し「本物」「一流」を求め、出費を惜しまない傾向があるのは周知のとおりです。

2-1. 身体のヒーリング

身体のヒーリングは、「温泉・スパ」によるリゾートです。特に、三遠南信特産の花を使ったアロマテラピーによるスパメニューで男女共有のスパ・リゾートを提案し、他との差別化を図ります。

(1) 様々な香りの提案 ～アロマヒーリング～

お花といえばバラやランを想像することが多いのではないのでしょうか、三遠南信で生産量が高く多くの品種も開発されているバラやランは香りが高く様々なアロマヒーリング効果があります。



バラ



ラン

<効果>

- ・心身のストレスを和らげ、リラックスさせる
- ・女性ホルモンの一つ、エストロゲンの分泌を促す
- ・肌の活性化による美肌効果
- ・消化器官の活性化
- ・更年期障害の軽減
- ・汗の臭いと加齢臭、口臭を抑える
- ・育毛効果
- ・異性を引き付ける催眠作用 e t c

(2) ランの育毛エステ ～エビネ蘭～

世の中には様々なスパがありますが、ランの育毛効果を活かした男性に特化したスパメニューがあるのはあまり前例がありません。



ランの中でも、希少種の『エビネ蘭』は、古来中国でも「九千連環草」と呼ばれる薬草であり、『中薬大事典』によると、血流をよくする、できものを散らす、筋肉をやわらかくする、痔の治療薬に使われたり、と解毒剤としても重用されていました。

最近では、エビネ蘭から抽出された天然エビネエキスには乱れたヘアサイクルを改善する効果を持つ「カラントサイド」や「グルコインディカン」などの育毛成分が含まれており、男女共に効果のある成分として、育毛剤にも活用されています。

ここでは、従来女性特化のスパでなく、男性も積極的に利用できるスパメニューを取り入れます。

また、エビネ蘭を利用した育毛剤やヘアケア用品などのブランド商品の開発も可能です。

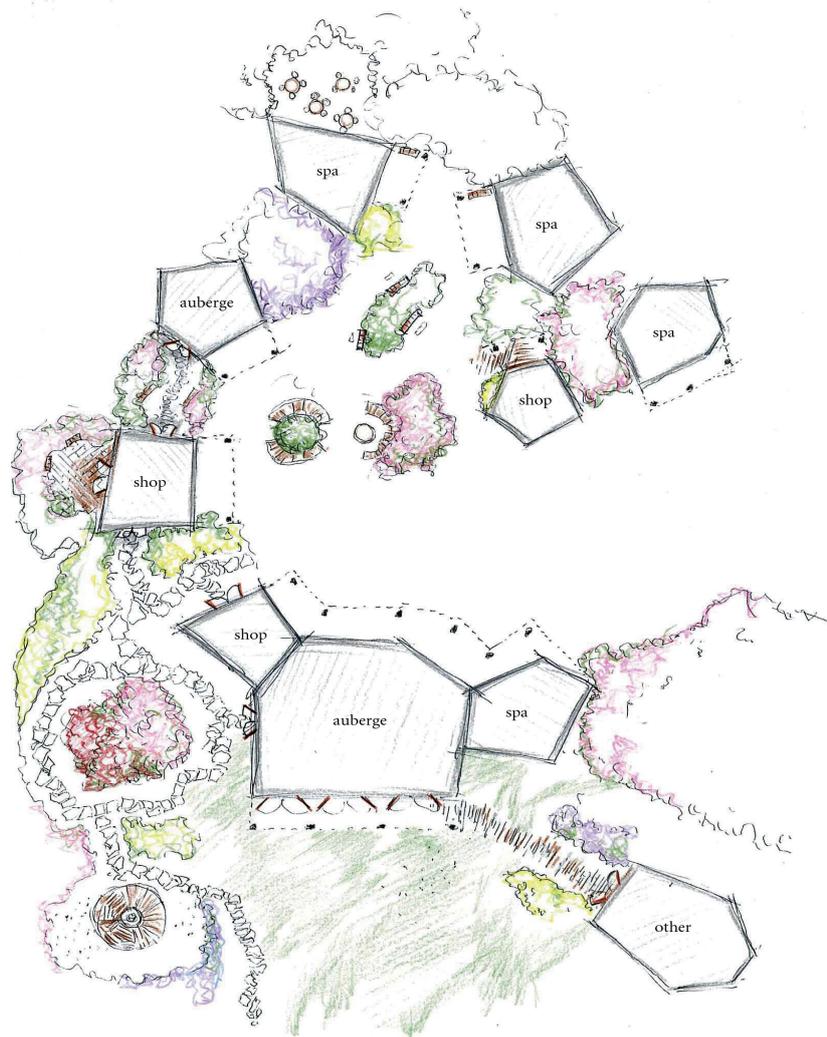
他にも飯田のダリア、浜松のガーベラ、三遠南信全域のバラ等の効果も併せて育毛を気にする年配男女だけでなく、嗅覚・視覚・前述の身体への直接効果を活かした、広い世代に対応したスパメニューを創造することで、広い年代の男女の来場者が見込めます。

2-2. 視覚、嗅覚のヒーリング

花と癒しのテーマパーク～ヒーリング・ガーデン～

花と癒しのテーマパークは、花を見るのが主な目的ではありません。スパ、オーベルジュ、ショップなど、複数の心と体を癒すメニューが用意された複合的に楽しめる施設です。

ここで提案するヒーリングガーデンは、もちろん「花を見る」とともに、もう一つ大きな役割を持っています。心と身体を癒すメニューを利用する空間全体のムードを作ることです。観光に来る方は、忙しい日常から離れ、つかの間の安らぎを求めて来ますから、ここでは日常を忘れ花に包まれた癒しの世界に集中していただけます。



提言 5

ー庭園・花畑のイメージー

世界中に、庭園や花畑、ガーデンパークなど、花を主役に据えた施設がありますが、その多くは、広大な面積に花を植え、平面的に花を配置しています。本計画では、建物とガーデンエリアを分けず、ガーデンの間に建物を点在させます。ただ広大な花畑とするのではなく、利用者は、スパ、オーベルジュ、ショップなどの施設を利用しながら、同時に花を觀賞でき、花に囲まれた雰囲気を楽しめます。

ただ、歩きながら花を見るのではなく、花畑の通路の様々な箇所に、あえて「たたずめる」場所を作ります。具体的には、広場、ベンチコーナー、パーゴラを設置した東屋などを設け、安心して立ち止まれて、物理的にも居場所を作ります。

花に囲まれた空間の中にある様々な施設を利用していると、自然と視界の中に花が入ってくる。立ち止まり、座ってゆっくり話がしたくなる。そして、カップルやファミリーがその空間の中で思い出を作れる。そんな空間を提供します。

ヒーリングガーデンの花畑は、平面的に広がるだけではありません。例えば、足元に広がる花畑は歩くにつれて、垂直に立ち上がり、もう少し足を進めると包み込まれるように天井へと広がります。別のコーナーでは、棚田のように立体的に積み重なる花畑もあります。

視覚的に遊び心のある非日常空間は、刺激的で、想像力を掻き立てます。そして、コミュニケーションを活性化させ、思い出や話題性になって、楽しい気持ちを与えます。

花畑を見上げながらリラックスできる空間。フラワーシャワー。

下に寝転べるベンチを配置し、そこでカップルがゆったりと話をしたり、家族でランチをしながら団欒したり・・・そういった人と人とのコミュニケーションによって癒される為の空間を提供します。

三遠南信という広い地域の特産の花の配置により、多種多様な花で庭園の構成が可能となります。四季を通じて様々な表情を見せる庭園は、来るたびに違う楽しさを与えてくれ、何度来ても飽きない庭園となるでしょう。

2-3. 味覚のヒーリング

(1) 三遠南信の特産物を使ったオーベルジュ構想

オーベルジュとは、フランスが発祥地の“郊外や地方にある宿泊設備を備えたレストラン”のことを指します。

「その土地でその土地の食材を使った料理を楽しむために、お目当てのレストランへわざわざ出かける。食べた後はレストランに併設している客室に泊まる。」という、こだわりのコンセプトが、世界中のグルメンやこだわりを持つ消費者達から非常に高い関心を集めています。

また日本国内では、昭和61年に箱根で開業された「オー・ミラドー」を初めとして、フレンチの一般化と共に、全国の観光地やリゾート地、別荘地などにもオーベルジュがオープンするようになりました。

また、世界中のグルメン達は「オーベルジュ」に非常に関心が高く、辺境の地にも食を求めて旅をする人は非常に多いといえます。

一例を挙げれば、2000年に再建され、2008年の北海道洞爺湖サミット開催地として一躍有名になった北海道虻田郡にある「ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパ」があります。アクセスの非常に悪い場所ではあるが、この不況下においてさえ来客数が減少していません。その理由は、リゾートにおいて訴求効果の高い「食」で、先に述べた「本物」「一流」があるからです。



- ・「ミシェル・ブラス」・・・フランスの三ツ星シェフ監修のレストラン。洋の最高峰。
- ・「あらし山吉兆」・・・和の最高峰。
- ・「カイザーのブラスリー」・・・パンの最高峰。

これら世界レベルで食の一流ブランド名を使った「ホテル特産品」が、サミットにおいて世界中の要人の嗜好に応えるオーベルジュとして評判を呼んだのです。

アクセスも良い三遠南信ならば、さらに魅力的な「オーベルジュ」を作ることが可能ではないでしょうか。

特に候補地として「三ヶ日地域」は、三遠南信中央に位置し豊富な食材が集まりやすく、「ミシュラン」などで評価される世界的名シェフのレストラン誘致が見込めます。

食だけでなく、風光明媚な宿泊施設も備えるオーベルジュでは、バラ、洋ランをはじめとした生花の香りのヒーリング、スパによる身体のヒーリング、ガーデンによる視覚、嗅覚のヒーリング等を体感できます。

さらに三遠南信の温泉、文化、アウトドア等、多方面のエンターテイメントを思う存分満喫でき、本物志向の消費者ニーズに応える一流のリゾート施設を提案します。

(2) 見て楽しい・食べて嬉しい「食べられる花」

三遠南信は、全国屈指の西洋野菜、ハーブ、果物の名産地です。

なかでも今回特筆すべきは「エディブル・フラワー (edible flower)」です。このエディブルフラワーは見て美しく癒し効果があり、しかも食べられる花で、豊橋市において、全国9割の生産高を持っています。



昭和42年(1967年)の桜草栽培に始まったエディブルフラワーは、バラ、プリムラ、キンギョソウ、パンジー、ナデシコ、カーネーションなど約20種類があります。

見た目の美しさだけでなく、栄養価の高さにおいても特筆すべきものがあります。

エディブルフラワーと従来の野菜との栄養分比較表

エディブルフラワー	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	糖質	繊維質
カーネーション	530	0.06	0.14	78	13.3	2.3
カレンジュラ	9,400	0.1	0.15	24	6.4	1.3
ダイアンサス	990	0.09	0.2	53	10.1	2.3
スナップドラゴン	270	0.05	0.07	250	6.1	0.9
プリムラ	1,100	0.04	0.12	230	6.7	1.4
ナスタチューム	1,900	0.08	0.1	90	3.6	0.8
バラ	640	0.02	0.11	120	12.6	3.4
パンジー	1,200	0.08	0.15	130	8.4	2.1
コスモス	1,600	0.06	0.14	25	7.9	1.4
ハウセンカ	—	—	—	650	—	—

比較野菜

野菜	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	糖質	繊維質
トマト	390	0.05	0.03	20	3.3	0.4
パセリ	7500	0.2	0.24	200	6.4	1.5
ブロッコリー	7200	0.12	0.27	160	6.7	1.1
ほうれんそう	3100	0.13	0.23	65	3.6	0.8
バナナ	27	0.04	0.09	16	22.6	0.3

科学技術庁四訂食品成分表より (100gあたり・生で測定)

以上の通り、それぞれにビタミンやミネラルを多く含むエディブルフラワーは、美容や健康に高い関心をもつ男女に訴求効果が見込まれます。

また、視覚から「イエローは脳を活発にさせ行動力を出す」「オレンジは気分を高揚させ食欲を増進させる」「パープルは心身を癒す」といった、カラーセラピー効果も見込まれます。

エディブルフラワーは味覚だけでなく視覚、嗅覚のヒーリングももたらし、三遠南信のブランド化に大いに活用できます。

3. リゾートブランドの創造

このように三遠南信は、全国でも有数の花の産地です。世界に誇れる貴重な資源を様々な視点から活用し、花産地ならではの「ヒーリング（癒し）」をテーマとしたリゾートブランドを創造します。「身体のヒーリング」、「視覚、嗅覚のヒーリング」、「味覚のヒーリング」を提供することにより世界から愛されるリゾートブランドを目指します。

提言 6 目指せ「KIBASEN WORLD CUP」

～三遠南信三つ巴の戦い～

騎馬戦という人を主体とするスポーツを通して、人と人との連帯意識を高め、地域の活性化と交流を図るイベントとして三遠南信から世界へ発信する。

1. 三遠南信 戦の地

1-1. 歴史的背景

古には、

- ・一言坂の戦い 元龜3年10月13日
武田信玄（信濃）VS 徳川家康（三河、遠江）
遠江国（磐田市一言）
- ・三方ヶ原の戦い 元龜3年12月22日
武田信玄（信濃）VS 徳川家康（三河、遠江）
遠江国（浜松市北区三方原町）
- ・長篠の戦い 天正3年5月21日
織田、徳川連合軍（三河、遠州）VS 武田勝頼（信濃）
三河国（新城市）

このように、三遠南信には三河、遠江、信濃の領地で武将たちが合戦を行った歴史があります。

現在では、Jリーグ（サッカー）やbjリーグ（バスケットボール）が三遠南信地域内のプロスポーツとして活動していますが、地域内の人が集まり参加するスポーツの祭典としては、昭和62年より浜松市と飯田市の境で「峠の国取り綱引き合戦」が行われています。合戦は「遠州軍」と「信州軍」の対戦であり「三河軍」としての参加はありませんでしたが、平成22年より行司役として参加しています。

以上のように、三遠南信の各地域三つ巴のスポーツの祭典がないのが現状です。

1-2. 地域的背景

三遠南信は、武田、徳川、織田と歴代武将の戦の激戦地だったこともあり各地に多くの城が築かれています。

- ・東三河地域 黒川城、設楽城、田峯城、他
- ・遠州地域 浜松城、鳥羽山城、二俣城、高根城、他
- ・南信州地域 大島城、鈴岡城、飯田城、他

この地域をはじめ、静岡県内には多くの城があるため中世城郭マニア憧れの地となっています。

また、浜松市では平成23年11月に「全国山城サミット連絡協議会浜松大会」が開催されました。加盟山城7城（三岳城跡・千頭峯城跡・犬居城跡・二俣城跡・佐久城跡・大平城跡・高根城）ありますが、いずれも天守閣を持つ近世の城（平城）ではなく山を切り開き造った城跡であり、加盟の73自治体の中で、滋賀県高島市の8城に次ぐ全国第2位となっています。

2. 三遠南信三つ巴のスポーツ祭典

天下取りの戦いを繰り上げられた三遠南信にふさわしく、三つの地域が同時に参加できるスポーツの祭典であり、日本独自のスポーツである「K I B A S E N」(騎馬戦)を提言します。

2-1. 理由

- ・ ルールが簡単で誰でも参加できる。
- ・ 小学校の頃から馴染み深い競技として多くの人を経験している。
- ・ 「K I B A S E N」を世界に認知させるために各地域のキャラクターを「大将」として据え広報にも役立つ。
- ・ 各地域にご当地キャラクターがあり、知名度アップにも貢献できる。
 - a. 東三河(豊橋市)「トヨッキー」



- b. 遠州(浜松市)「出世大名康くん」



- c. 南信州(天龍村)「おきよめっち」



・世界的にも、ご当地のキャラクターを決めているところは少なく、歴史的にもキャラクターをふまえた戦いなどは行われていない。

2-2. ルール

- ・ 安全を考慮し、大将とした「キャラクター」を騎馬の中に立てるのではなく、キャラクターの旗を作成した旗取り合戦とする。
- ・ 各地域の大將と姫君（ご当地のミス、準ミス）と各地の特産品（食品、工芸品）は、自陣の城に待機し、勝敗の行方を見守る。
- ・ 敗れた地域の大將と姫君は、次年度開催日まで勝った地域のイベントに借り出される。
- ・ 特産品は勝った地域への献上品となる。
- ・ 勝った地域が次年度の開催地となる。

3. 三遠南信発 世界へ

3-1. 地域活性化

合戦に勝つと次年度の開催地となり、参加者の他に多くの見学者も集るため地域の活性化につながります。さらに、是非とも勝ちたいという思いから競技に熱が入り参加意欲が沸いてきます。

会場は特産品が集まる場所にもなる上に、献上品として扱うことで地域特産品の宣伝の場にもなります。

3-2. 地域交流

地域間の活性化と交流として、B級グルメグランプリ、餃子グランプリ等、食に関わるものは多種多様にありますがアマチュアスポーツではほとんどありません。

K I B A S E Nは参加者の連携が勝負を左右するため、勝つためには幾度もの練習が必要であり、それによって地域内の人が集まりコミュニケーションも広がります。

3-3. 三遠南信を超えて

ルールも簡単で白熱する「K I B A S E N」には言葉の壁もありません。

この三遠南信からはじまる「K I B A S E N」を世界に発信し「K I B A S E N WORLD CUP」の開催を目指します。



提言7 三遠南信テクノビレッジ構想

～ 次世代ハイブリッド電車を世界へ発信！ ～

各地に存在する高い技術を、広域第三セクター「三遠南信テクノビレッジ」に集め、“三地域の産官学が一体となったモノづくり”に挑戦しよう！ 世界を変えるのは“地域力”です！

1. 三遠南信には、バラエティに富む“高い技術”と“大きな産業規模”がある！

三遠南信は技術の宝庫です。三遠南信の製造品出荷総額は約14兆円で、全国第5位の埼玉県と同規模となります。その技術力は、織物や木材加工等を起源として、楽器、オートバイ、自動車、鉄道車両、産業機械、エレクトロニクス、光技術、エネルギー関連等、さまざまな分野で発展しています。これほど多岐に渡る高度技術が大規模に集積していることは、地域にとって大変貴重な財産といえます。

2. 三地域が、力を合わせる“場”、そして“共通の夢”が必要である！

三地域に分散する企業、技術を繋ぎ合わせれば、世界に発信できるビッグプロジェクトも実現可能ですが、これを民間企業のみで行うのは困難です。この困難を乗り越える支えとなり得るのは各自治体の力です。三地域の自治体と企業群が一体となって協働できる“場”として、広域第三セクター「三遠南信テクノビレッジ」を設立し、“共通の夢”「次世代ハイブリッド電車の開発」を提言します。

3. 三遠南信の技術

3-1. 東三河地域は日本の“鉄道車両製造の聖地（メッカ）”である！



東三河地域、特に豊川市周辺には現行の新幹線のほか、リニア中央新幹線の車両も開発する鉄道車両メーカー及び関連企業も多く存在しています。

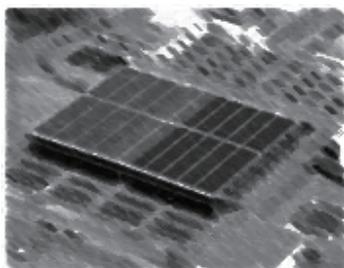
この地域は車両部品、機械部品、電気部品等の関連企業が一体となって集約されており、正に「鉄道車両製造の聖地」です。

3-2. 遠州地域は、自動車等にもられる“ハイブリッド技術”が優れている！



遠州地域には数々のオートバイ、自動車メーカーがあり、関連企業と共にそれぞれ日進月歩の技術革新を続けています。環境配慮社会における次世代エネルギー車への消費者ニーズの高まりから、各メーカーもハイブリッド（主には燃料と電気の動力交換）技術に磨きをかけ、世に多くの製品を送り出しています。

3-3. 南信州地域は、自治体と産業界が“太陽光発電”に大きな力を注いでいる！



飯田市は環境モデル都市を目指し、市民ファンドを原資として、域のエネルギー会社が太陽光発電による電気供給を行う「太陽光市民協同発電事業」を展開しているほか、住宅用太陽光発電奨励金制度により世帯普及率を23%にまで高めています。同市には大型の太陽光パネル製造工場があり、生産技術・活用ノウハウとも極めて高い水準にあります。

4. 三地域の産官学の共通の夢発信

4-1. “産”の力で、三遠南信の夢“究極の「次世代ハイブリッド電車」を開発しよう！



三遠南信の企業技術を統合させることで初めて実現できる次世代の世界標準“究極の「次世代ハイブリッド電車」”をつくることを“三遠南信の夢”と定めます。

車内の電源は太陽光発電でまかない、平地を走る動力はリチウム蓄電池、山間地ではディーゼル燃料を利用し発電すれば、ランニングコストだけでなく路線建設を含めたイニシャルコストも安価になります。何より環境への負荷が最小限で済みます。

先進国のみならず、インフラ需要が高まる諸外国からの引き合いは強いはずで

そして“三遠南信の夢”は“世界の夢”となるのです。

【参考】ハイブリッド電車の現状

世界に先駆け、平成19年よりJR小海線で「キハE200系ハイブリッド車両“こうみ”」が、ディーゼルエンジンとリチウム蓄電池の動力を状況に応じて効果的に利用し、営業運行されています。データ収集や改良研究は続けられているとみられますが、量産には至っていません。

4-2. “官” の力で、広域第三セクター “三遠南信テクノビレッジ” をつくろう！



遠州地域では、現在“はままつ次世代環境車社会実験協議会”において、産学官が連携して地球環境への意識を高めるさまざまな取り組みを行っています。

さらに広域なレベルで、従来のどのプロジェクトより大きな政策として、夢を実現に導く広域第三セクター「三遠南信テクノビレッジ」を設立します。

テクノビレッジ内には、研究施設や展示場を設け屋外にはテストコースなども併設します。この他、企業による研修や視察も受け入れプロモーション次第では他県からの企業誘致も期待できます。

設立場所については新東名高速道路、三遠南信自動車道、リニア中央新幹線が整備されるなかで、インターチェンジや鉄道駅などの交通基盤を有効に活用し、三遠南信の技術の集積に相応しい立地が望まれます。

4-3. “学” への展開で “未来の技術者” を育てよう！



三遠南信の先端技術が集まるテクノビレッジを、単なる研究機関に留めておくのではなく、「見える研究室」を設置し小中学校、高等学校の総合学習として活用します。また、大学の研究室としての利用も可能です。

各地に研究の進捗状況を開示しながら産官学が一体で盛り上げれば、地域の連帯感がさらに高まります。

5. 今こそ “地域力” を結集し未来に希望がもてる “夢ある社会” をつくろう！

閉塞した世の中を変えるのは“技術力”と“地域力”、即ち“そこに暮らす人々の力”です。各地に存在する高い技術力と大きな地域力を広域第三セクター「三遠南信テクノビレッジ」に集め、“三地域の産官学が一体となったモノづくり”に挑戦し、大きな夢ある社会を実現しましょう！

提言 8 三遠南信エネルギー独立宣言

～ 三遠南信発、日本のエネルギーインフラを変える！ ～

三遠南信の豊かな資源からクリーンエネルギーをつくりそして利用する。さらにそこから新たなエネルギーを創出！新たなエネルギーサイクルが三遠南信の未来を変える！

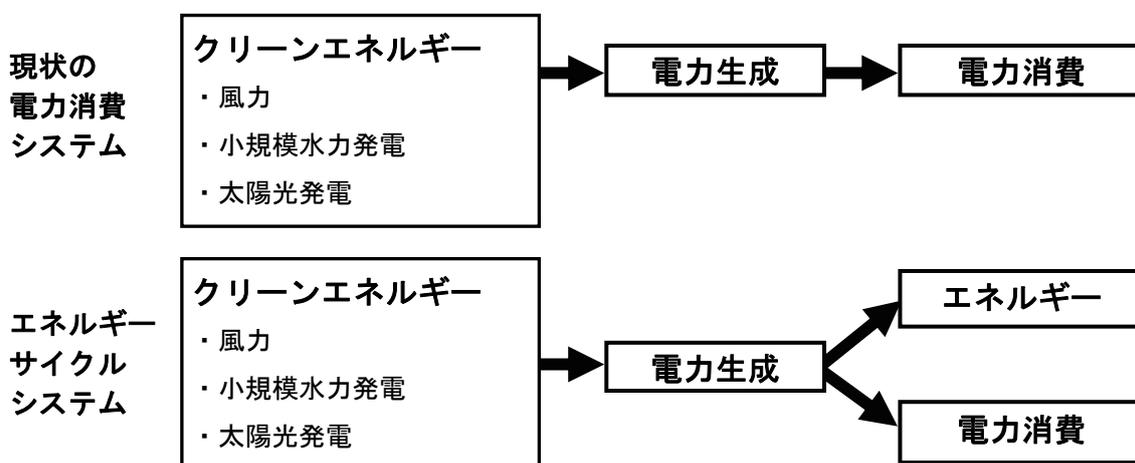
1. 「藻」から始まるクリーンエネルギーの連鎖

近年、筑波大学の研究グループが藻の育成による炭化水素化合物（油）を生成する技術の実験、研究を進め、結果として従来の10倍生成する技術を発見しました。

研究段階ではあるものの、この技術が実用化されるようになれば、この藻の活用を幅広く利用できるようになります。しかし、現状では藻の育成には多くのエネルギー（主に電力）を必要とします。

今回の提言では三遠南信の特色を活かしたクリーンエネルギーを利用し、さらに発電したエネルギーを藻の育成に転換して、そこから炭化水素化合物を作り、エネルギーサイクルの実現を目的としています。

資料1. エネルギーシステム比較



2. なぜ三遠南信なのか？

三遠南信は北は山間地域の南信州地域、南は太平洋の強い潮流や海岸特有の強い風を擁する東三河地域、遠州地域は全国的にみてもトップクラスの日照時間などのクリーンエネルギーや藻育成プラントに適した立地条件が多いという利点があります。

炭化水素化合物を精製した石油エネルギーを、遠州地域を中心とした工業、東三河地域の農業へ利用することで、三遠南信のエネルギーサイクルが出来上がります。さらに、このエネルギーサイクルを利用する事によって生まれた三遠南信ブランドの生産物や雇用などの相乗効果で、第三次産業にまで好影響を与えます。

三遠南信の豊かな資源と特性を活かしたアイデアや構想を、全国に先駆けてリーダーシップをとり、研究、開発、そして実現していくことが重要です。

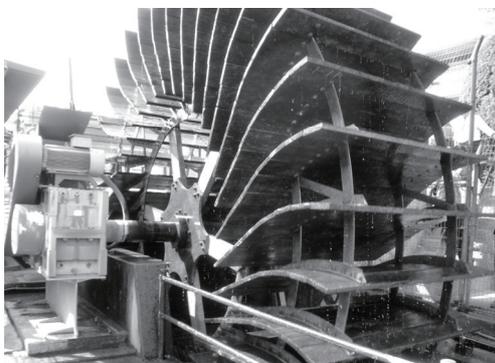
3. 三遠南信クリーンエネルギー構想 ～ エネルギーを創り出す為のエネルギー ～

東日本大震災以降さらに注目され始めたクリーンエネルギーですが、一口に言っても数多くのクリーンエネルギーがあります。

代表的な物で言えば太陽光発電、最近この地域でも増えてきた風力発電など数多くの種類があります。

今回これらのクリーンエネルギーを三遠南信にマッチした発電方法でエネルギーを作り出し、藻の育成に必要なエネルギーを確保していきます。

資料 2. 中小水力発電



山間部の多い南信州地域には天竜川を本流とするたくさん流れの激しい支流があり、また、そこには農業用水路も十分に張り巡らされています。

このような水流の激しいところには中小水力発電（資料 2）が大変効果的です。

中小水力発電の大きなメリットは、電気の製造単価が安いこと、太陽光発電や風力発電など天候に左右されることがなく、一定以上の水流さえあれば 24 時間安定して発電する事が出来ます。さらには二酸化炭素排出量も

他の発電方法に比べて極めて少ないことも特徴です。

東三河地域、遠州地域では海岸沿いの強い風を利用した風力発電や、日照時間の多さを利用した太陽光発電などは、もうすでに各地に設置され実用化されています。また最近では家畜の排せつ物や林業廃棄物などを利用した「バイオマスエネルギー」も研究されています。

そして、注目されている新エネルギーとして、海流を利用した海流発電（資料 3）があります。

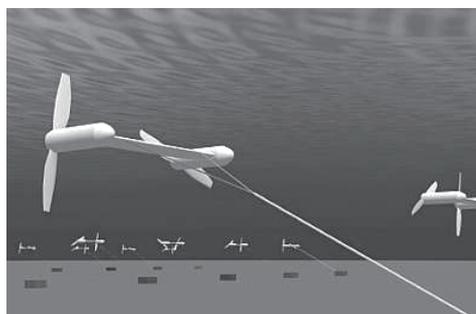
東三河地域、遠州地域の太平洋沖には世界でも有数の海流速度を持つ「黒潮」が流れていますが、海流幅が約 70 キロ、流速は 1 秒間に 2～2.5 m と世界でもトップクラスを誇っています。

風力とは異なり海流は常に安定した流れをもち、さらに海水は空気よりも密度が大きく（約 800 倍）、単位面積当たりの力は風力に比べ強力です。

また、この海流発電も天候に左右される事がなく（台風でも水深 10 m 以下の海中はほとんど影響がない）エネルギー効率も太陽光発電の約 5 倍と、まさに究極のクリーンエネルギーであり、試算では 2,000 キロワットの発電装置を約 800 基設置すれば、大型原子力発電所を超える発電が可能となります。

資料3. 海流発電（例）

しかし、海流は無限にある自然エネルギーであり、研究する価値が大いにあり、新エネルギーを生む藻の育成に活用します。



例えば、山間部では中小水力発電と休耕田を利用した太陽光発電、林業廃棄物など利用したバイオマス発電の設置ができます。

海岸沿いでは、風力発電はもちろんのこと洋上風力発電と海流発電を組み合わせた複合大型エネルギープラントの建設も可能です。

三遠南信ではこのあらゆる自然環境を持ち合わせ、数多くのエネルギー生産を担う方法が取り組める日本では数少ない地域です。

これらを効果的に組み合わせることで、藻の育成に利用するだけでなく直接的に発電した電気の売電や一時利用も可能になり、これだけでも大きな可能性を秘めたエネルギー構想となります。

4. 藻による炭化水素化合物生成の現状

4-1. 炭化水素化合物ができる「藻」とは？

藻類は、水中に生息している植物の総称であり、主に光合成によって増殖します。一部には育成の過程において燃料を生産するものがあります。

藻から油ができることは、最近でこそニュースで取り上げられていますが、一般的にはそれほど多く知られていません。

山の中にある沼や水田などに油が浮いていることを目にしたことがあるでしょうか？

これは外部より油が流れ込んだものではなく、そこにいる藻が作りだした油分なのです。また、現在使われている石油も「そもそもは藻が作りだしたものだ」という説もあります。

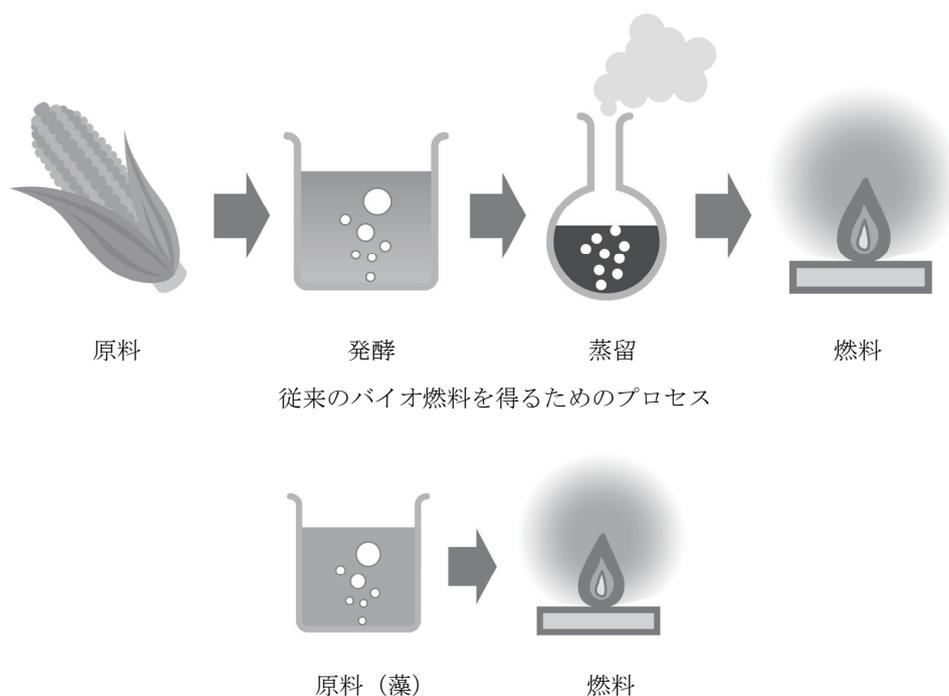
4-2. なぜ藻を利用するのか？

藻に注目した点のひとつとして「従来の食べるための穀物生産と競合しない」ということがあります。

大豆やトウモロコシといった陸上植物から油をとり、燃料とすることはすでに実用化されていますが（バイオエタノールという呼び方で知られています）、その中でも比較的効率が良くとされるアブラヤシと比べると、藻の効率は五～数十倍に達すると言われており、生産性からみても多に期待できます。

なお、藻を利用した油の生産は製造工程が少ないため、生産コストが低く、プラントも単純構造であることも良い要因です。（資料4）

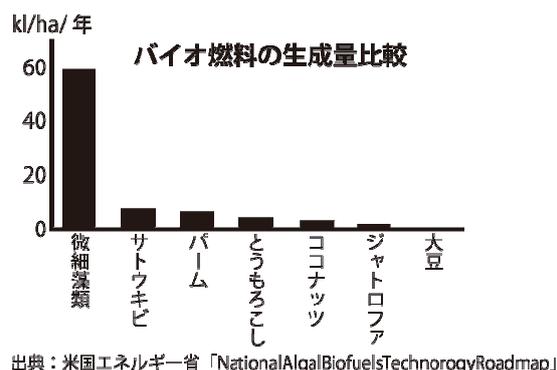
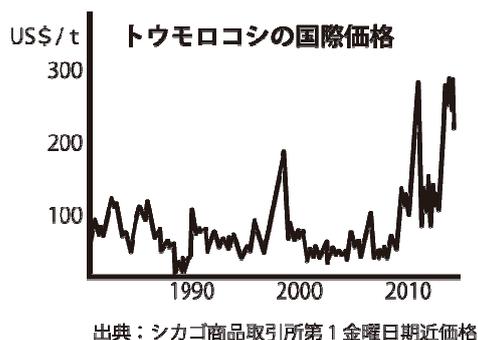
資料4. 藻から燃料を得るプロセス比較



そして、バイオエタノールは本来「食用」のために生産していた作物を「燃料用」へ流用したため、2000年代半ばからの原油価格高騰に伴い、バイオ燃料の需要が急増しました。

このため、原料のトウモロコシやサトウキビなどの需要の高まりと、「燃料戦略商品」としての価値から投機資金が流入し、穀物価格上昇を招いた過去があります。(資料5)

資料5. トウモロコシの国際価格とバイオ燃料の生成量比較



藻は成長する際に二酸化炭素を吸収し増殖が速いという特徴を有しています。藻から抽出される油分がほぼ重油並みであり、かつ硫黄分をほとんど含まないため、良質のエネルギーとしての利用を期待されています。

4-3 藻の技術動向と課題

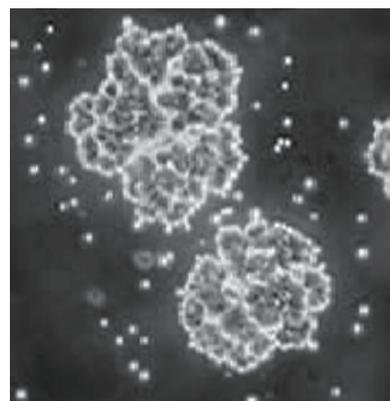
油をつくり出す藻は数十種類知られており、藻の油生産能力は1ヘクタール当たり年間40～140tと他のバイオ燃料と比較して非常に高い生産性を誇っています。このため藻から油を抽出するという研究は1980年代から始められていました。

しかし、試験管内では比較的簡単に培養させることのできる藻でも工業的に培養するとなると「他の微生物がたくさん増えてしまう」「培養速度が遅くなる」といった問題が生じ、藻からの工業的的油類生産は難しく、現在も世界各国で生産効率を上げるための研究が続けられています。

商業化に向けて現在の培養設備の増設、進化だけでなく、培養から油分抽出までの一貫した生産技術も必要であり、藻からのバイオ燃料にはまだ多くの課題が残っています。

技術的問題の解決も大変重要ですが、最も重要なのはコスト的な課題です。

資料6. 榎本藻

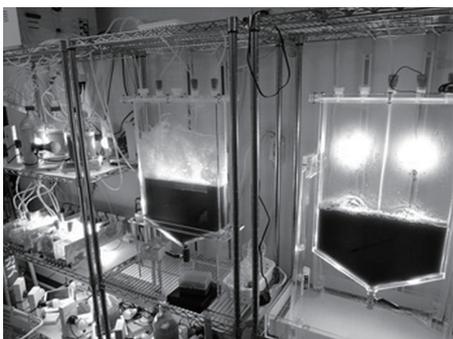


提言 8

微細藻類からの健康食品や補助栄養剤の製造や飼料用としての培養は既に商業化されていますが、健康食品としてのクロレラなどは1kgで10万円から100万円程度の価格になり、飼料用の藻は1kgで1,000円から1万円程度の価格になっています。

一方、燃料用や化学原料用としては、現在1リットル生産するコストは1,000円以上と見積もられていますが、これを100円程度のコストまで引き下げる必要があります。ここまでのコストダウンは現状では難しく、この点が燃料用や化学品原料用などに至っていない最大の理由といえます。

資料 7. 榎本藻 実験プラント



この問題の解決方法として、2010年12月、筑波大学の研究チームによって沖縄県の海で発見された新種の微細藻類（オーランチオキトリウム）が期待されています。

これまでの藻の10倍以上の油生産能力を持っており、この藻が大量培養できるようなシステムが可能になれば、一気に商業化の可能性が高まります。

さらに、今年7月、「榎本藻」（資料6、7）と呼ばれる「オーランチオキトリウムを超えるのでは？」と期待される藻の発表があり商業化に向けて開発を進めています。

5. 炭化水素化合物の利用 ～ 三遠南信オイルロード ～

このように生成された炭化水素化合物の利用方法としては、まず三遠南信の第一次産業への利用を考えます。

三遠南信は農業産出額をみても全国のトップクラスであり、他にも林業や漁業、畜産業なども盛んに行われています。農業や林業、漁業、畜産業において、石油の利用は必要です。また、経費としての燃料費の割合は非常に高く、生産者の大きな負担となっています。

三遠南信のクリーンな新エネルギーによって、輸送コストはもちろん地域で生成した安価な燃料を使用することで生産コストを下げ、また新しいアイデアを盛り込むことによってこれらの問題にも十分クリアできる、「強い一次産業」が実現できます。

そしてこの新エネルギーは、第二次産業にも利用する事も可能です。遠州、東三河地域は二輪四輪などの輸送関連機器をはじめとした全国有数の工業出荷額を誇っています。当然それらの産業にも燃料は必須であり、第一次産業同様に生産コストの大幅削減にも寄与します。

また三遠南信地区の特色を活かしたクリーンエネルギー発電で、藻からの炭化水素化合物生成における必要発電量の余剰分を直接工場や事業所での利用も可能で、それらもコストダウンの要因となり、ひいては国際競争力の向上にもつながります。

そして、地域が活性化すれば当然雇用も増え、地域住民の生活が豊かになり、サービス業などの第三次産業も活性化する相乗効果が期待できます。

豊かな自然を利用したクリーンエネルギー発電と、藻の生成プラントを（規模の大小はありますが）、三遠南信の各所に作り、それらによって生成した「三遠南信ブランドのクリーンオイル」として各地域に運び利用することによって、以前からこの地域にある『塩の道』や『絹の道』になぞらえ、『三遠南信オイルロード（エネルギーロード）』と位置付けます。

従来のような電力を消費する為の発電ではなく、生成した電力を藻の育成プラントで利用、新たなエネルギーを生産し、『電力生産→地域消費』であったシステムを、『クリーンエネルギーによる発電→炭化水素エネルギーの創出→三遠南信の産業利用』というサイクルを確立させ、この事業を「三遠南信発のエネルギープロジェクト」として推進します。

6. まとめ

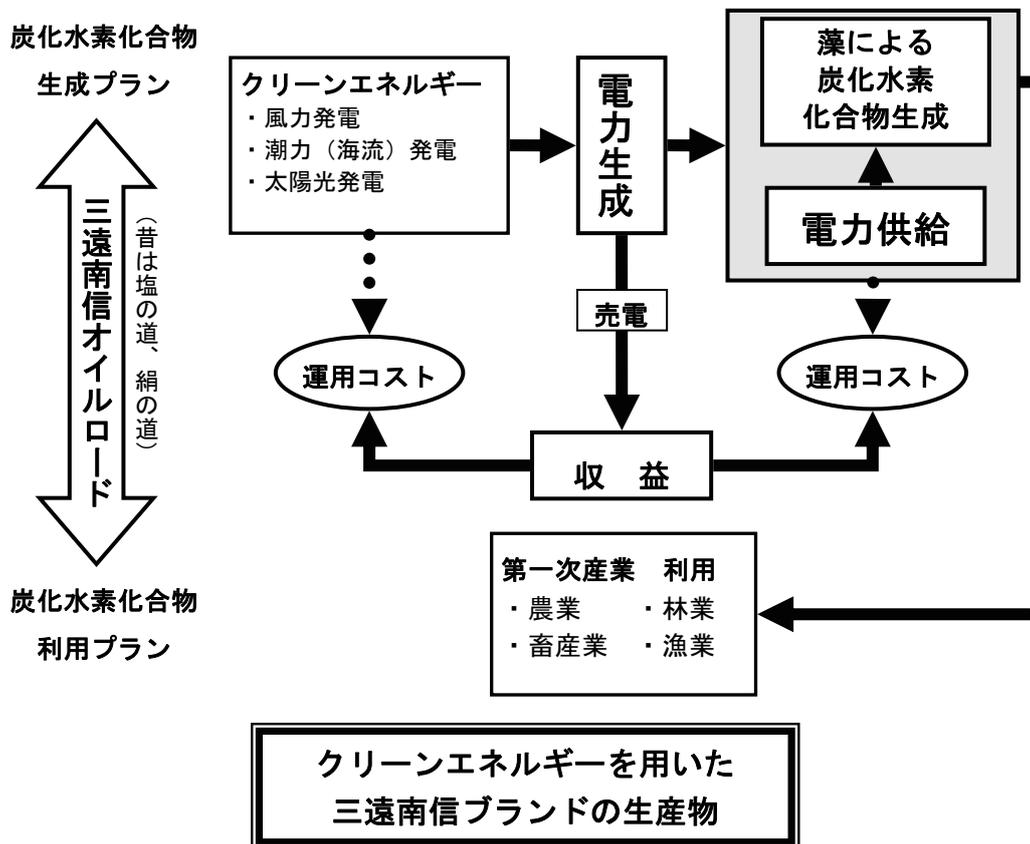
東日本大震災の発生以来、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故で原子力発電所の存続自体が問題となっている状況において、その代替エネルギーとしてクリーンエネルギーに大変注目が集まっているなか、今後のエネルギー供給のあり方は従来のように遠方の発電所から一方的に送られてくる「大規模集中型」から、地域で必要なだけエネルギーをつくって共有し合う「小規模分散型」へと変わっていくことが十分に予想されます。

このような地域の特色を活かした新エネルギーの生成は、将来に向けて避けては通れない課題です。現実的には問題も多く残されていますが、地域が主体となって考え、その地域には何が一番よいのかを真剣に考えるべきではないでしょうか。

石油などの「化石エネルギー」もこの先「永遠」に利用できるわけではありません。その地域に合ったクリーンエネルギーを生産するだけでなく、これを利用して新たなエネルギー「三遠南信ブランドエネルギー」を生産することが、地域の活性化や日本全体のエネルギーインフラを変えていくこととなります。

日本のみならず世界で最初の『クリーンエネルギーサイクルモデル』（資料 8）をここ三遠南信で実現します。

資料 8. 三遠南信クリーンエネルギーサイクルモデル



おわりに

三遠南信には豊かな自然や農林水産資源、観光、文化、産業など多くの素材が存在し、地域の発展につながる“三遠南信ブランド”となる多くの可能性を持っています。東三河地域、遠州地域、南信州地域のそれぞれの魅力を活かし、3地域の連携により可能となる「ここにしかない」「ここだから出来る」三遠南信ならではの提案に取り組みました。

地域内には様々な素材があるために、提案の分野も多岐に亘りました。あらゆる分野へ多角的な視点による提案のため、多くの産業において今後の事業展開の手掛りになるでしょう。

そして、提言の実現のためには、三遠南信の各地域相互の連携も大切ですが、産官学が協力した取り組みも重要となります。関係機関において、この提言書が実現の第一歩となり具体的事業への進展を期待します。

また、三遠南信の人口の約35%を有し、約25%の面積で地域のほぼ中心部に位置する浜松市の役割も重要となります。

今回の提言の中で拠点となる地域として、浜松市内の三ヶ日地域や引佐地域の名前が上がっています。この地域は、新東名高速道路と三遠南信自動車道の開通により今後は三遠南信の中で交通の要所となってきます。さらに三ヶ日地域は、温暖な気候と美しい景観を併せ持つため、様々な産業が発展する可能性を秘めています。

三ヶ日地域や引佐地域が三遠南信の中心的存在に成りえる地域のため、浜松市として将来の発展を意識した整備計画への取り組みが必要です。

“三遠南信ブランド”は、三遠南信が豊かにそして元気になるための提案として創りました。今後は、この提案の事業化により三遠南信の発展は当然のこと、地震で被災した東日本地域や日本全体が元気になるきっかけになれば幸いです。

また、“三遠南信ブランド”が経済産業省による“ジャパンプランド”のように世界へ発信されることを切望します。

参考資料

1. 飛越地域アンケート結果

1-1. 概要

「三遠南信」について調査、研究するなかで、同じように県境をまたいで連携して活動している地域が全国で約70組織あることがわかりました。他の地域に直接出向き、その地域の活動内容を視察、取材をすることにより「三遠南信」を客観的に再認識することで既存の情報以外の新しい価値のある提案につながると考えました。今回は数ある県境地域のなかから、その組織の活動内容（観光、産業、交通等）を事前に調査した上で、「飛越地域」を選択し視察を行いました。

「飛越地域協議会」事務局へ取材をすると共に、地域の声として飛越地域内で活動する岐阜県「高山YEG様」と富山県「富山YEG様」に県境地域活動について下記内容のアンケートを実施いたしました。

1-2. アンケートの回答

質問1. 「飛越協議会」はご存知でしょうか？

回答項目	高山YEG	富山YEG
よく知っている	0	0
大体の活動は知っている	1	0
存在は知っている	2	3
あまりよく知らない	1	1
まったく知らない	6	10

質問2. 「飛越協議会」にてあなたが関わっているもしくは興味のある事業についてお答えください

回答項目	高山YEG	富山YEG
匠回廊（伝統工芸、地場産業、民芸、クラフト等のものづくり事業）	0	3
味回廊（山菜や川魚・農林産物をいかした加工品などふるさとの味を自然の中で楽しむ食事業）	3	6
祭り回廊（高山祭、越中おわら風の盆をはじめ世界演劇祭利賀フェスティバルなど地域内の文化・芸術事業）	3	6
語りべ回廊（地域の民話伝説を聞いたり、宇宙の話聞くなどの科学体験を通して地域の人々と触れあう体験事業）	1	4

質問3. 飛越地域（高山市・飛騨市・白川村・富山市・砺波市・南砺市）内で交流はありますか？

高山Y E G		富山Y E G	
3-1. 事業所のある自治体名			
高山市	7	高山市	
飛騨市		飛騨市	
白川村		白川村	
富山市		富山市	14
砺波市		砺波市	
南砺市		南砺市	
下呂市	1	下呂市	
3-2. 取引先が飛越地域の他自治体にある			
名古屋市	1	南砺市	
岐阜市	1	富山市	1
富山市	2		1
3-3. 観光・レジャーで行くことがある（主な行き先：内容）			
富山市：ショッピング	4	高山市観光	9
砺波市：ショッピング	1	飛騨市	4
富山市：海水浴、チューリップ展など	1	白川郷	2
砺波市：海水浴、チューリップ展など	1	古川	1
富山市：釣り	1	奥飛騨温泉	1
3-4. その他（主な行き先：内容）			
飛騨市：昔住んでいた	1	南砺市 母の実家	1
神岡町：昔住んでいた	1		
飛騨市：サッカージュニアクラブの試合、大会参加	1		
富山市：サッカージュニアクラブの試合、大会参加	1		
砺波市：サッカージュニアクラブの試合、大会参加	1		
高岡市：「回転寿司」社長が知人のため	1		
富山市：東京へ向かうため富山空港を利用	1		

質問4. 高山で「コレは流行っている！」「コレはキてる！」というスポット、ファッション、食べ物等のトレンドを教えてください

高山Y E G	富山Y E G
古い町並み	ブラックラーメンにあやかりブラックヤキソバ
温泉	福野駅前ラーメン真太
鮎のつかみどり（宮川）	福野農産物直売所 ふくの里
ブラックラーメン	高山ラーメン
とんちゃん（神岡）	富山ブラック
塩づり	立山登山
みたらしだんご	みたらしだんご
飛騨牛串	飛騨牛串
五平餅	ひるがの高原牧歌の里
塩せんべい	
けいちゃん（鶏肉）	
野菜	

質問5. 「三遠南信地域（浜松・飯田・豊橋）」と聞いて知っていること思いつくことはありますか？

高山Y E G	富山Y E G
うなぎ	うなぎ
競艇	徳川家康
ふぐ	浜松城
餃子	うなぎパイ
FC HONDA	サッカー
YAMAHA	YAMAHA
館山寺温泉	館山寺温泉
みかん	天竜舟下り
豊川稲荷	水引
馬刺し（飯田）	ホトニクス
浜名湖	浜名湖
フラワーパーク	ちくわ
パルパル	航空自衛隊
清水金魚	
浜松らんちゅう	
新幹線	
ちくわ	
飯田街道	
中田島砂丘	
ap-bank fes（つま恋）	

1-3. 考察

「飛越協議会」という県境をまたぐ活動組織については両団体とも「知らない」という回答が目立ちました。組織からのアピールが地域住民に届いていないということもありますが、現段階において具体的な施策が提供されていないことが問題です。これは三遠南信にもいえる問題であり、共通の課題です。

また質問3において互いの地域との交流を伺ってみたところ「あまり自分の居住地域から出て交流することはない」という回答が得られました。

県境の交流および促進には、さらなる具体的な、かつ求心力のある施策や政策が必要です。

2. 出典・参考文献

21世紀における県境地域の新たな地域づくり 全国県境地域研究会

デフレの正体 藻谷浩介 角川 one テーマ 21

世界に繋がる日本の中央回廊 三遠南信 250万流域都市圏の創造 三遠南信地域連携ビジョン

・提言1

国立社会保障・人口問題研究所 <http://www.ipss.go.jp/>

厚生労働省 統計情報 http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

国立大学法人浜松医科大学医学部附属 http://www.hama-med.ac.jp/hos_index.html

総合病院浜松聖隷病院 <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

総合病院聖隷三方原病院 <http://www.seirei.or.jp/mikatahara/index.html>

浜松赤十字病院 <http://www.hamamatsu.jrc.or.jp/>

・提言2

浜松市「健康はままつ21」http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/lifeindex/life/health/helth_21/

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 <http://www.sena-vision.jp/>

食育基本法 <http://www8.cao.go.jp/syokuiku/about/law/law.html>

生野菜の鮮度保持に関する実験論文（西尾幸枝、山田房子）<http://ci.nii.ac.jp/naid/110000952356>

県境を超えた広域的な地産地消圏の形成プロジェクト業務報告書

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

・提言3

国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計』（H20年3月推計）

OECD：経済協力開発機構

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

三遠南信地域連携ビジョン冊子版平成3年国土総合開発事業調整費調査等

文部科学省HP 新学習指導要領

・提言 4

繊維産業の現状と環境変化 経済産業省製造産業局

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g70323a06j.pdf>

ファッション関連有識者会議について 経済産業省製造産業局

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/k_7.html

ウィキペディア 「ファッション」 <http://ja.wikipedia.org/wiki/ファッション>

学校数 <http://www.japan-schools.info/>

浜松市人材育成基本方針

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/admin/reform/jinzai/jinzai.htm>

浴衣取扱量日本一／浜松シティプロモーション情報 WEB サイト 浜松の元気

http://hamamatsu-genki.jp/modules/hmamatsu_jiman/content0010.html

株式会社今泉

<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chikishigen/data/3-20-087.pdf>

丸音織物株式会社

http://j-net21.smrj.go.jp/expand/shigen/MIninteiKeikaku/pdf/shizuoka080919_03.pdf

有限会社福田織物

<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chikishigen/data/3-20-077.pdf>

<http://www.fukuda-textile.com/>

http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/genki/gyosyu/kakusya/43_fukuda.html

<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chikishigen/>

クレアシオン社「ファッションデザイナー赤嶺幸生氏のブログ」

<http://www.incontro.jp/blog/index.php?date=2011-07-12>

古橋織布有限会社

http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/genki/gyosyu/kakusya/114_furuhasi.html

<http://www.furuhashi-weaving.co.jp/>

繊維産業の展望と課題 産業構造審議会繊維産業分科会著

・提言 5

日本政府観光局 公式HP 平成22年観光データ

農林水産省 公式HP 平成22年生花出荷量

豊橋温室園芸協同組合 <http://www.toyoon.or.jp/item05.html>

働く女性が拓く市場 日経産業地域研究所

夢のホテルーウィンザーホテル洞爺 破綻、再生、そして世界標準へ 著者：窪山哲雄 出版社：小学館

浜松市公式Webサイト <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

ツーリズムマーケティング・マーケティング研究所 <http://www.tourism.jp/>

日経産業地域研究所「働く女性が拓く市場」

第117回日本医学会シンポジウム記録集 <http://jams.med.or.jp/symposium/117.html>
エディブルフラワー 情報サイト <http://www.villagestore.jp/edibleflower/flower/>
JA豊橋 公式サイト <http://www.ja-toyohashi.com/top/top.html>
JAとびあ浜松 <http://www.ja-shizuoka.or.jp/topia/>
JAみなみ信州 <http://www.ja-mis.iijan.or.jp/>
日本野菜ソムリエ協会 <http://www.vege-fru.com/>
豊橋温室農業園芸協同組合 <http://www.toyoon.or.jp/item05.html> 写真使用
飯田市役所HP <http://www.city.iida.lg.jp/iidaspyher/www/tour/index.jsp>
オーガニック食品活用術 http://www.d2.dion.ne.jp/~choco_c/sub87.htm#09
ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパ <http://www.windsor-hotels.co.jp/>
日本オーベルジュ協会 <http://japan-auberge.org/>
浜名湖オーベルジュ キャトルセゾン <http://l-qs.com/>

・提言6

山城サミット連絡協議会 浜松市HP
<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/square/intro/bunkazai/1111yamajiro/index.htm>
ウィキペディア 戦 ご当地キャラクター

・提言7

経済産業省 三遠南信クラスター <http://www.sen-cluster.net/>
ウィキペディア 三遠南信 技術、ジェイアール式マグレブ
三遠南信サミット 資料集 三遠南信地域連携ビジョン推進会議

・提言8

環境省 「平成22年度 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査報告書」
<http://www.env.go.jp/earth/report/h23-03/>
産業競争力懇談会 「微細藻類を利用した燃料の開発」
<http://www.cocn.jp/common/pdf/thema38-s.pdf>
三井物産戦略研究所 グリーン・イノベーション事業戦略室 宇野博志
「藻類からのバイオ燃料製造の現状」
http://mitsui.mgssi.com/issues/report/r1103j_uno.pdf
筑波大学生命環境科学研究科 渡邊 信 「藻類バイオマスエネルギー技術の展望」
http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~eeeforum/1st3EF/1st3EF_watanabe.pdf
IHI NeoG Algae 合同会社
<http://www.neo-morgan.com/INeoG/>
独立行政法人 科学技術振興機構

科学技術専門放送 WEB サイト「サイエンスチャンネル」

「『藻』からバイオ燃料 加速する研究開発」

<http://sc-smn.jst.go.jp/sciencenews/detail/M110002-017.html>

東京都環境局 波力発電検討会

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/renewable_energy/conference/index.html

TSUKUBA SCIENCE 「藻類が世界を変える」

http://tsukubascience.com/seibutsu/sourui_ga_sekai_wo_kaeru/

株式会社 I H I 「藻類バイオ燃料の研究開発合同会社の設立 ー燃料生産能

力が最も高い藻の開発に成功、実用化を目指すー」

<http://www.ihico.jp/ihipress/2011/2011-7-07/index.html>

3. 取材先

「飯田商工会議所」
「NPO法人 三遠南信アミ」
「株式会社 サイエンスクリエイト」
「広域連携によるグリーンメガリージョン形成の地域戦略」
「財団法人 飯伊地域地場産業振興センター」
「三遠南信クラスター推進会議」
「三遠南信サミット」
「三遠南信地域経済開発協議会」
「三遠南信地域交流ネットワーク会議」
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」
「山都印刷株式会社」
「高山市商工観光部観光課」
「高山商工会議所」
「高山商工会議所青年部」
「富山商工会議所青年部」
「豊橋商工会議所」
「南信州観光公社」
「浜松まちなかコレクション」
「飛越地域協議会」

— 講師例会 —

「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」

— 撮影協力 —

「生鮮市場 石原や」



飯田商工会議所



NPO法人 三遠南信アミ



株式会社 サイエンスクリエイト



財団法人 飯伊地域地場産業振興センター



三遠南信クラスター推進会



三遠南信地域経済開発協議



三遠南信地域交流ネットワーク会議



三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)



高山市商工観光部観光課



南信州観光公社



浜松まちなかコレクション



飛越地域協議会



講師例会：SENA



撮影協力：生鮮市場 石原や

あとがき

未曾有の大災害 3.11 東日本大震災の後、多くの方々が地域間連携の大切さを再認識したのではないのでしょうか。今年度の浜松 Y E G 及び浜松は、この地域間連携にいくつかの必然が重なっていました。静岡県商工会議所青年部連合会（静岡県青連）においては、会長輩出単会であり、三遠南信 Y E G 交流会は、主管単会で浜松開催でした。また、三遠南信サミットは、浜松で開催されました。三遠南信自動車道は、一部供用開始し、新東名高速道路は、平成 24 年の供用開始が発表されました。縦の連携である三遠南信と横の連携である静岡県の融合点が浜松であり、集約されていました。そして今年度の政策提言のテーマ「三遠南信」は、正に地域間連携が大きな要素をしめます。そのような中、委員会内外での様々な人と人との出会いの中、絆が生まれ、育まれ、広がっていったことにより、自然に連携が起これ、ここに提言書が完成したのではないかと感じています。

最後になりますが、この提言書を作成するに当たり、各方面で多くの皆様方よりご指導・ご鞭撻を賜りましたことを紙面上ではございますが厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

浜松商工会議所青年部

副会長（政策委員会担当） **大野 靖**

従来の政策提言は、ほとんどが浜松市に関するテーマでしたが、今年度のテーマが「三遠南信」だったからこそ改めて気づいたことがありました。それは「協力した交流を重ねることで連携が生まれ、その結果が発展に繋がる」ということです。

「三遠南信」について調査、研究するために遠州地域は勿論のこと東三河地域や南信州地域の現地へ出向き、行政や商工会議所、その他様々な団体で取材をさせていただきました。同じ商工会議所なのに地域が違えば、取り組み方や求めている内容も違いました。それぞれ立場や地域が違うと得意分野も違うという印象を受けました。

今回の提言では、「三遠南信」の様々な素材を活かし 3 地域の連携により生まれる“三遠南信ブランド”を創りました。弱い部分を補完することで成り立つケースや優れた素材を組み合わせることでさらに強くなるブランドなど、県境を越えて交流し連携すれば将来の発展に繋がる地域の明るい未来が拓けると感じました。

委員会の活動も同じで、個々での取材活動をチーム内で協力し連携することで一つの提言となってきます。その提言が八つ集まったために「三遠南信」という広いテーマの提言も可能となりました。

結びになりますが、本提言書作成にあたりご支援ご協力を頂きました皆様に感謝すると共に、心より厚くお礼申し上げます。

浜松商工会議所青年部

政策委員会 委員長 **山崎 正浩**